

第9期スマートクルーズアカデミーレポート



平成28年8月24日～31日

＜横浜＝釜山＝鹿児島＝油津＝高知＝清水＝横浜

7泊8日at ダイヤモンド・プリンセス＞

主催:大阪大学国際公共政策研究科赤井研究室

共同企画:全国クルーズ活性化会議(研修クルーズ)

クルーズ・アカデミーの概要

第9期 スマート・クルーズ・アカデミー (2016年第2弾) ＜横浜＝釜山＝鹿児島＝油津＝高知＝清水＝横浜 7泊8日 at ダイヤモンド・プリンセス＞

【ダイヤモンド・プリンセス】



- 乗客定員：2,706人
- 船籍：英国
- 就航：2004年(2014年3月改装)
- 総トン数：115,875トン
- 全長：290m
- 全幅：37.5m
- 航海速力：22ノット(41km/h)

【行程】

No.	日時	寄港地
1日目	8/24(水)	横浜
2日目	8/25(木)	クルージング
3日目	8/26(金)	釜山(韓国)
4日目	8/27(土)	鹿児島

No.	日時	寄港地
5日目	8/28(日)	油津
6日目	8/29(月)	高知
7日目	8/30(火)	清水
8日目	8/31(水)	横浜

スマートクルーズアカデミーの趣旨

★学生の論理的思考向上の場

船上でしか味わえない、見渡す限り何も無く、それぞれが集中してやりたいことに打ち込める洋上の素晴らしい環境で、国際関係や地域発展についての社会課題について議論し、船内、寄港地にて国際感覚のより一段の向上を図る。

★クルーズ振興に向けた新たなマーケットニーズ構築の場

大学生がクルーズを体験し、若い世代からの視点で、将来のクルーズマーケットを熟成する。体験を踏まえて、日本の港湾戦略、寄港地の分析、日本の観光のあり方を議論し、自由に事業・政策提案する。

■ INDEX

第1部<乗船前と乗船時の感想>	1
(1) 概要を知る前のクルーズへのイメージ	1
(2) 事前のクルーズ説明会他でクルーズの概要を知った!	3
(3) 申し込み後、乗船日前夜の感想	5
(4) クルーズ客船が目の前に見えた!大きさに驚きの連続。期待感が膨ら む	7
(5) 乗船直後の感動	8
第2部<クルーズ船>	11
(1) 船内施設 (ハード面) の感想(船内施設・施設のレイアウトなど).....	11
(2) 船内サービス(ソフト) の感想(食事内容 (レストラン・ルーム・カフ エ・ハンバーガーバー・ピザバー・アイスクリームバー)、サービス・ オペレーション(キャビン清掃、ホテルレセプションサービス、カジノ、 その他船内の各部門オペレーション)	13
(3) 船内SHOW, エンターテイメントの感想(船内鑑賞イベント全般、プ ロダクションショー、落語)	16
(4) 船内スポーツ・体験施設・内容の感想 (泉の湯、ジャクジー、プール、 ジムほかスポーツActivity)・体験型イベント(ワインテイasting・ フラダンス・プールサイドダンス・バルーンドロップPARTY など)) ..	19
第3部 <各港での対応及び魅力>	22
(1) 乗船・下船港(横浜)での感想 (港・ターミナルの施設評価、乗船時対 応の感想など)	22

(2) 釜山港の感想（乗船下船時対応の感想、寄港地の魅力）	24
(3) 鹿児島港の感想（乗船下船時対応の感想、港地の魅力）	27
(4) 油津港（日南市）の感想（乗船下船時対応の感想、意見交換会、飫肥城散策(小村寿太郎館)、ビーチバレー企画、鶴戸神宮、油津商店街、寄港地の魅力）	30
(5) 高知港の感想（乗船下船時対応の感想、港視察、夕食意見交換会、寄港地の魅力）	33
(6) 清水港の感想（乗船下船時対応の感想、港視察、工場見学、寄港地の魅力）	36
 第4部 <船上講義：スマートクルーズアカデミー>	39
(1) 学生提言：事前準備から、発表までの感想、大学間交流としての意義	39
(2) 学生提言についての感想(各班の発表を聞いての感想)	41
(3) 自治体関係者プレゼン×パネル討論(全国クルーズ活性化会議討論)の感想	44
(4) スマートクルーズアカデミー内容全般について(学生提言大会、自治体との交流会、スポーツACTIVITY大会、フォーマルナイト、夜の交流会など)についての感想と今後の要望	46
 第5部 <地域活性化・クルーズ振興>	50
(1) 地域活性化のためのクルーズ客船誘致と港湾の役割(港湾関係者の発表や船内での関係者との議論を踏まえて)についての感想（国・自治体政策のあり方など）	50
(2) クルーズの社会的意義とクルーズ振興の在り方(ニーズの掘り起こしにむけての若い世代からの視点)	53

(3) クルーズ全般への感想(失敗談なども)、将来に向けての感想、前項

までに該当しなかった部分への感想など 57

<注>

各項における本文冒頭の番号は、番号ごと同一の学生の意見・感想となります。また、学生の属性は以下のとおりとなっております。

No.	属性	備考
1	首都圏の国立大修士2年男性	
2	首都圏の国立大学部4年男性	
3	首都圏の国立大学部4年男性	
4	首都圏の国立大修士1年男性	(2回目:1回目は、2016年マリナー・オブ・ザ・シーズ(第8回SCA))
5	首都圏の国立大修士1年男性	(2回目:1回目は、2016年マリナー・オブ・ザ・シーズ(第8回SCA))
6	首都圏の国立大修士1年男性	(2回目:1回目は、2016年マリナー・オブ・ザ・シーズ(第8回SCA))
7	首都圏の私立大学部4年男性	
8	首都圏の私立大学部4年女性	
9	首都圏の私立大学部3年男性	
10	首都圏の私立大学部3年男性	
11	首都圏の私立大学部3年女性	
12	首都圏の私立大学部3年男性	
13	首都圏の私立大学部3年女性	
14	首都圏の私立大学部2年男性	
15	首都圏の私立大学部2年女性	
16	首都圏の私立大学部2年男性	
17	関西圏の私立大学部4年女性	
18	関西圏の私立大学部4年女性	(2回目:1回目は、2015年ダイヤモンド・プリンセス(第7回SCA))

第1部 <乗船前と乗船時の感想>

(1) 概要を知る前のクルーズへのイメージ

1. クルージングというのはずっと船の上でのんびり過ごしているんだろうな。また客層も富裕層のみで、美味しいものを食べたり上等のサービスを受けることで、家族団欒しているであろう。
2. 時間とお金のある高齢の方々が楽しむ、優雅な雰囲気のもの。マナーなどに厳しく、自分達のような学生の集団が行っても馴染めないのではないか、他のお客さんになにか思われるのではないかと不安がある。
3. クルーズは、ほかの旅行の中でもある程度の時間の余裕が必要で、お金を持っている人向けのものであるというイメージであり、ある種のリゾート感覚での旅行の一種というもので、若者や家族向けではない旅行形態の一種というイメージです。
4. 前回は若干の不安（英語や他大学など）があったが、1度クルーズの良さを味わっているという事もあり、クルーズに対しては期待しかない。他大学の学生のことを知らないのでプレゼンに対しては若干の不安がある。
5. 前回乗船した船がカジュアルクラスなのに対して、今回乗船する船がプレミアムクラスという事で、前回よりももっと高貴な方々と一緒に船旅をするのかとビクビクしている。だが、自分からプレミアムクラスのクルーズを選ぶ事は今後無いだろうし、良い機会だと思って乗船しようと思う。
6. 5月のクルーズを経験し、再びクルーズに乗りたいという気持ちが日に日に強くなっている。クルーズは夏のイメージがあり、5月のときより期待が高まっている。また、ランクも上がると聞いており、船のサービスの質が高くなることも期待している。
7. 先生からお誘いを受けたときからこのような機会は今後ないだろうし、以前からクルーズ旅行に憧れていたので絶対の参加しようと考えていた。クルーズと聞いたときは大人やお金もちが休暇を楽しむために乗るものだと思っていて自分みたいな若僧が乗っていいのかなと遠慮がちな気持ち。ゼミの同期の女子の申し込みがなかったので先輩と先生とうまくやっていけるかなと不安。
8. 将来的にもクルーズは経験しないものだろうと思い、良い機会だから参加した。ど



のような船で過ごすのか想像もできない上に、面白さがわからないが、それを知るいい機会だと思う。価格について、純粋に高いという印象が大きく、参加をためらったが、乗ってみたいという期待が大きかったので、参加を決めた。

9. 友人に誘われた際のイメージはキッチリとした服装でお高いイメージであった。7泊8日という長い期間を束縛されることに対しては……。クルーズといえばバカンスというよりもすごくゆったりとした「時」を過ごすのであろうというイメージ。
10. 乗る前は、クルーズがどのようなサービスを提供し、自分はクルーズで何をすることができるのかわからない。6万と言われたときは高いという感覚。また、7泊8日も船に乗ることなんて……。
11. 正直に言えば参加する前向きな気持ちにはなっていない。一週間という時間を費やすことになるし、またパスポートももっていなかったのも、準備・乗船にかかる費用だけでも大きなものになるし、そこまでの費用をかけてまで参加する意思はいまひとつ。
12. 申し込むか考えた時に少し6万円は高いと感じる。クルーズのイメージは、ダイビングに行くときのようなちょっと豪華な小型船なのかなと感じている。一般の方からしたら7泊8日で6万は安いと思う。しかし、大学生の6万円は少し高いと感じる。
13. クルーズに乗船する前までは、お金持ちや高齢者が乗るイメージで、一般の学生が乗るものではないのでは。また、わたしにとっては1週間という長期にわたっての旅行であり、不安。
14. 今まで一度も船旅をしたことがないので、どれほど快適に船上で過ごすことができるか不安。私は、乗り物酔いをしやすいので、クルーズ船は大型なので揺れないといっても天候などの条件によっては船酔いをするのではないかと疑問。また、船旅は船上での生活が長くなるので、乗っているうちに窮屈に感じることもあるのではないかと。
15. お金持ちや年配の方が休暇を楽しむための場所で、毎日ドレスを着てパーティーをしているのでは。日本人、特に私たちのような大学生には不似合いな場所。色々な場所に行けて楽しそうなので、大人になったらいつか乗ってみたい。
16. クルーズに対する一番のイメージは、お金持ちの人が乗るというものだ。また、時間的に余裕のある退職後や老後に利用するもので、若者にはあまり縁のないものだというイメージ。クルーズ船の事故なども耳にしたことがあったので、船上で生活することに多少怖さがある。
17. 去年クルーズアカデミーに参加した周りの友達に話を聞くと、みんな「楽しい」と



言っていたので、クルーズは楽しいというイメージが強い。また、社会人になると休みがとりにくくなるので、学生のうちにクルーズに乗ってみたい。

18. 前回は全く同じ船に乗ったため、安心して申し込みができました。2回目という事で、退屈しないかが少し不安。

(2) 事前のクルーズ説明会他でクルーズの概要を知った！

1. 概要を知る前と比較し、意外と寄港地にちゃんと寄ることに気がついた。しかし停泊も6時間前後と日帰り旅行並のスケジュールだ。そのため寄港地で存分に楽しむためには、寄港地のことを事前に調べておく必要がある。釜山などの未経験の場所のガイドブックを購入し、寄港地での行程のプランニングだ！
2. 想像していたよりも一泊当たりの料金が安い！（食事やショーなどを含めて考えると）、食事のメニューが想像よりも豪華だ！
3. クルーズ内のイベントが自分が考えていたものよりも多く、ショーやフォーマルナイトのような自分が経験したことのないものを体験できると思うとワクワク！イベントで多忙に動き回るのかな！
4. 前回の船よりも少しランクの高い船であることを知り少しテンションアップ中！アクティビティが少ないことを知り少し残念・・・とはいっても前回の2倍の時間を船の上で過ごせるのですごく楽しみ！高知は前回行ったが、他の寄港地は行ったことがないので寄港地にも期待！
5. 前回の乗船で、船上でのアクティビティと寄港地での散策が両方楽しめるのがクルーズの魅力だと知ったので、今回のクルーズの寄港地の多さはとても嬉しい。でも、7泊8日という日程についてはかなり長いな！
6. 5月のときより設備が充実しているような印象！前回利用できず残念だと思っていた、大浴場とコインランドリーがあるのも嬉しい。パンフレットを見た印象では、前回よりも高級感を感じ少し緊張も！
7. プリンセスクルーズのムービーを拝見し、機内案内の冊子をもらったとき、様々な設備がそろいすぎて豪華すぎて自分がこの船に乗ることが信じられなかった。申し込んでよかった！他のみんなは参加できなくてかわいそうという優越感あり。クルーズはときの流れを忘れてゆったり昼寝をしたり海を眺めたり何もせずバカンスを満喫するイメージ。アクティビティが充実しているので、退屈はしないだろう！
8. 純粋にクルーズの大きさに驚き！少し大きめの船で体動かせるスペースが多少あ



る程度に考えていたけど、純粋に楽しそうだ！参加を決めてよかった！また、クルーズには縁がないと考えていたけど、国がクルーズの需要を高めたいという背景とそのための方策が進んでるのを知ったときは興味をもった。

9. 他大学と自治体の方々と交流できることは楽しみであったが、申し込んだにも関わらず、やはり長期間の束縛に嫌気もがさしていた。しかし、クルーズのDVDを見た時に船内で沢山の事を経験できる事を知り、徐々にクルーズに対して「楽しみ」という感情が湧き出ている。
10. DVDをみて始めてクルーズの中身を知ることができた。プール、料理が食べ放題、カジノといったことがたった6万でできてしまうのかと感ずくようになり、高いという印象からお得だと考えるようになっていく。
11. 外国船ということもあり、内装や外装がとても豪華！
12. クルーズの概要を知って、クルーズに対するイメージが180度変わった。正直、この金額でこの規模の船に乗れるのはあり得ないというのが率直な感想だ。クルーズの設備・食事やイベントの華やかさ・寄港地の多さなどを考えてもこの金額は安すぎると思える。それぐらいクルーズに対する期待値は高い。
13. クルーズの概要を知った後でも、楽しそうと曖昧な感情は抱いたものの、まだクルーズで旅をする意味とは何なのかは理解できず、体験したことのないことだから取りあえず乗ってみようと思う。この時点では、クルーズの意義も楽しさも全然分からない。
14. クルーズ船とは、こんなにも自分をワクワクさせる場所なのかと感ずく。クルーズの船内では、退屈する場面が多々あるのかと不安に感じていたが、概要を聞く限りでは遊んでもあそびきれないのではないだろうか。また、日本にこれほど大型の船が寄港していることに驚いた。3000人を超える人が乗船するとのことであったが、船内は込み合っているのではと感ずく。
15. 毎日パーティーというわけではなく比較的にカジュアルな船もあり、思っていたよりも敷居が高いわけではないようだ。ただ船の中で過ごすだけでなく、毎日様々な催し物があって楽しそう。早く乗りたい。”
16. 本当に船なのかとびっくりしている。これからこのような豪華客船に自分が乗ることが信じられない。イメージ以上に実際に乗船してみたらもっとすごいんだろうなと思う。
17. プールやショーなどを思いっきり楽しみたい。また、寄港地にもたくさん寄るので



その土地の魅力をたくさん知りたい。甲南からは2人だけの参加なので、他の大学の学生と仲良くなれるか不安。

18. 前回参加しなかったツアーやバーなどにも是非行きたい！また、今回は前回とは違い多くの港に寄るので、各地での観光も楽しみたい！

(3) 申し込み後、乗船日前夜の感想

1. クルーズが初めてであり、寄港地や船上でやりたいことなどを想像し胸を躍らせていた。しかし富裕層などが乗っているイメージを持っていたため、ドレスコード、特にスマートカジュアルのイメージが湧かず荷造りが大変であった。
2. 実際の船の中がどんな風になっているのであろうか、雰囲気はどんななのか、先に乗船しているメンバーはすっかりクルーズのお客さんに溶け込んでいるのであろうかなど期待と不安が入り混じる
3. 明日からクルーズが始まるのかというワクワク感が残っているのはもちろん、その中でクルーズという未知のものに対するちょっとばかりの緊張感も出てきたので、クルーズに対する期待感はどんどん膨らんでいきます。
4. プレゼンの資料作りが終わってなくてとてもやばい。クルーズの荷造りも全然終わってなくてやばい。（自業自得だがクルーズに行けることへ期待を寄せている暇がない）食事が美味しいと聞いているから何も食べずに行こう。
5. 前回乗船した時と同様に、不安と緊張を感じる。普段全く触れ合わないような世界の人々と数日間を同じ船で過ごす事になるし、アカデミーのメンバーや自治体方々ともしっかり交流出来るか不安である。もちろん船上での生活や寄港地でのイベントなど楽しみな点もあるが、不安の方が大きい。
6. 7泊8日のクルーズを楽しむため、溜まっていた課題を出航日までに終わらせようと必死になる。船の上では、とにかく日常の忙しさを忘れ開放感を味わいたい。寄港地の見所を調べる時間を作れなかったのが反省点。
7. 三か月前に申し込んだクルーズがあつという間に前日になり、人生で初めて一週間以上家をあけることになるので不安と期待で胸がいっぱいだつた。また、ドレスコードなどがあり、服装をどうしようか準備でとても迷つた。
8. 大きなクルーズ船なので楽しみな反面、準備に大きな不安を覚えた。船内で通貨が変わることや入港の際の手続き、ドレスコードの準備等自分が普段経験しないことが多くあつたので、楽しみ以上に不安が大きかつた。特にドレスコードのスマートカジュアルの恰好がわかりづらかつたので、仮に準備した服装がダメだったらどうなるのか、などを考えもした。
9. 前日になり、この時点でやっと「楽しみ:嫌気=5:5」くらいの感情になっていた。前夜まで台風の中、サークルの方の合宿に行っていたため心身共に疲れていたため、少し気が進まなかつた。アンサーブックを入念に読みながら、「これから8日間ど

うなるのか」と緊張と不安であった。

10. 荷物を前夜荷物を詰める前、アンサーブックを読み、何が必要なかみたが、スマートカジュアルが何なのかわからず、戸惑っていた。次に忘れ物をしないよう念入りに確認しながら荷物を詰めた。また、サングラスを買いに行き、東洋大学でクルーズに参加する人と前夜祭をしていた。
11. 経験がまったく無いこともあってか、不安8、期待2くらいだ。
12. パスポートを作成等は初めてだったので少し戸惑っている。もろもろの申し込みをした後は、一日千秋ではないが出港が待ち遠しい。乗船前夜は、運動会の前日のように楽しみすぎて寝れない自分がいる。
13. 乗船の前夜は、明日からクルーズの日々が始まるなんていう実感は沸いておらず、取り合えず荷造りを終わらさなければとせかせかと動き回っていて、クルーズに乗ることにあまり深く考えていない。本当に何も考えていなかったと思う。
14. いよいよ明日より乗船である。今回のクルーズには、他大学の学生も参加する。また、地方自治体の方々も乗船される。そういった方々とうまく交流することができるか不安である。だが、クルーズという今までにない経験ができるというのは楽しみである。あれほどまでに豪華な船内で、1週間も生活できるというのは、夢のようでもある。早く乗船しておいしい食べ物を鱈腹食べ、プールで優雅に泳ぎたいものである。
15. アンサーブックを読み、こんなに大きくてすごい船に自分が乗っている状態が想像できなくてどきどきする。1週間自宅に戻れないので忘れ物がないか心配。同期の同性がいないので、先輩方や他大学の生徒と仲良くなれるか不安。
16. 乗船日前夜はとてもワクワクしている。これまで船自体に乗ったことがなかったので、これから未知の体験ができると思うと夜も眠れない。7泊8日ということで準備がとても大変だ。普段着慣れないスーツの準備をしたりなど。
17. 台風が直撃して船が沈んでしまったらどうしようと少し不安だが、同時にやっと念願のクルーズに乗れると思うとこれからの1週間がどうなるのかワクワクする。素敵な思い出ができるとうれしい。
18. 前回クルーズに参加した際は、とても緊張していましたが、今回は特にありません。天候が不安なのと、友達が出来ることが少し不安。また、去年のような夢のクルーズ旅が始まると思うととても楽しみ。今回は前回を超えるいい旅になればいいな！！！！



(4) クルーズ客船が目の前に見えた！大きさに驚きの連続。期待感が膨らむ

1. フェリーなどには何度も乗船した経験はあったが、想像以上の大きさだ。特に今回は大さん橋から乗船したことで、山下公園にある氷川丸を見ることができ、その大きさの違いに唖然。想像の規模感の2倍くらいの大きさで、クルーズの行程中に全体を知ることが出来るのだろうか??
2. <特別に釜山から乗船>釜山のタクシーのなかから見えて、思わず「でかつ」と日本語でいい。タクシーの運転手さんにきょとんとされながらも、あの船にいまから乗るんです！と叫んだ。
3. クルーズ船自体を初めて見たけど、ここまでスケールが大きいとは！！大きさだけでなく、乗船客の列を見てその人の多さにも驚き、1回のクルーズの同行者がこれだけ多いのかというのを間近に実感！
4. もちろん船の大きさに圧倒されるが、前回乗った船(マリナー・オブ・ザ・シーズ)が大きすぎてベイブリッジを通れなかったので「今回はベイブリッジを通れるぐらいの大きさか」というのが率直な感想。
5. 前回乗船したマリナー・オブ・ザ・シーズよりは小さい船だという事だが、それでも陸から眺めると大きい。これからこれに乗るのかと考えると、ワクワク。
6. 横浜港に異様に大きなクルーズ船が停まっており存在感がある。前回は、ターミナルからバスで移動しなければならなかったのが、“クルーズ感”を弱めていた。やはり自分の足で港を歩くことで、クルーズの実感がわいて良い。
7. 大栈橋についてすぐに船が見えている。あまりの大きさにこれは本当に船なのか疑うほどだ。近所のマンションよりも大きくてこの巨大な物体が海の上を動くのか…この船でこれから一週間過ごすのか…と当日になっても信じられない気持ちだ。
8. 幅も高さも想像以上の大きさで驚き！思わず大栈橋に向かうところで何度も写真を撮ってしまうほどだ、その大きさに感動！近づけば近づくほど見上げてしまい、早く乗りたいという気持ちが強まっている。また、大栈橋に向かう人は、ほぼクルーズに乗る人だと思っていたが、その多くが外国人であり日本人のクルーズ客は少ないという印象だ。
9. いつの日か横浜港に着いていたクルーズに乗船する日がとうとう来たかとワクワク。また想像以上に客船自体の大きさに驚き！
10. 日本大通り駅から雨のためタクシーで大栈橋に向かっているときに、ダイヤモンド・プリンセス号の後ろ姿だけが見ることができた。その後ろ姿は、海に浮かぶ



ホテルのようであり、こんな大きい船に乗れるのかと思ワクワク。

11. 思ったサイズの5倍位はあって、一目では見渡すことのできない大きさに正直に驚き！
12. 実際に自分がこの船に乗るのかという驚きを隠せない。大げさかもしれないが、夢の中にいるような気持だ。目の前の船の大きさは自分にとっては驚きを通り越すものである。船があまりにも大きくて携帯電話のカメラに入りきらないということも驚きの一つである。それぐらいダイヤモンド・プリンセス号の存在感がある。
13. 乗船前にクルーズ船が見えた時は、こんなに大きな船は見たことがなかったし、これからこの船に乗ると考えた時はわくわく。また、同時にタイタニックみたいに沈没しないか少し不安にも感じて、期待と不安が入り混じっている。
14. 本当に自分をこんなにも大きな船に乗船するのだろうか。驚きとワクワクを抑えることができない。思ったよりも目の前に現れたそれは大型である。インターネットの画像で見るよりも四角いフォルムをしているように感じる。動くビルかホテルかといった印象である。外側の部屋はバルコニーがついていることがわかる。あのような部屋に泊まることができればもっと船旅を楽しめるのだろう。
15. 建物と間違えそうなくらい大きい。私たち以外のお客さんは特に感動するわけでもなくしれっとしていて、これが普通なのかと驚き。
16. 乗船前にクルーズ客船が目の前に見えた時に、まず思ったことは、よくもこんなに大きい船が港に着いたなということだ。客船は想像以上に大きく圧倒される。豪華客船とはこんなにも規模が大きいのだなと、改めて驚き！
17. 今まで見た船の中で一番大きい！大きすぎて写真に収めるのが大変。なぜこの大きさに沈まないのか少し不思議。大きくて豪華であったため、帰ったらみんなに自慢だ！
18. ダイヤモンド・プリンセスは本当に大きい船で、いよいよ始まるな！！という期待で胸が膨らみます！！すごく気分が高揚しています！！

(5) 乗船直後の感動

1. アトリウムの上階から乗船したことから、まずアトリウムを上から一望でき、聞き及んでいた豪華客船の名に恥じない綺羅びやかさを感じている。またホテルかと思間違ふほどのアトリウムで、個人的にはディズニーリゾートにいる時のような感覚だ。
2. 船員さんがフランクでありマナーなどで怒られるイメージはない。エントランスからホテルの中みたいで船のなかである



ということを忘れるほどだ。

3. 船員の方が日本発着にもかかわらずこんなにも外国人がいるのだなと思います。そして、エントランスが高級デパートのようで、想像していたものよりも、豪華絢爛であったので何かいつもとは違う非日常感が湧いています。
4. (乗船直後ではないが) 乗船手続きが前回(マリナー・オブ・ザ・シーズ)に比べてめっちゃ楽！前はいろいろ書かされて結局クレジットカード登録できなかったのに今回はすんなり行けた！前回よりも落ち着いた感じ。エレベーターがなかなか来ないし謎??の動きをする。
5. 想像通り船内の内装は豪華で、まさに「動くホテル」だと感じる。船員さんも優しく、やはりすごい所に来てしまっているんだなあという心持ちに。前回の船と比べると、少しエレベーターが大きいかもしれない。
6. 前回も同じ印象を受けたが、船の中というよりホテルのロビーのように思える。部屋も清潔で快適に利用できそうなのが嬉しい。前回よりも、部屋が小奇麗で高級感のある印象を受けた。船員の対応は、前回の方がフレンドリーな期がするが、今回も、決して悪い印象はうけない。
7. 高級船であるので、乗る人ひとりひとりに厳重な審査などをするのかと思っていたが、意外とあっさり手続きが終わり驚いた。クレジットカードなどの登録もスムーズに終了し良かった。部屋に初めて入った時に冷蔵庫の前に部屋を使用していた人が残したであろうリンゴの食べかけ(若干腐っている)が残っていて掃除の徹底が足りてないなどがっかり。
8. 乗船前に動画で実際の船内を確認していたが、エントランスが想像以上に明るく輝いている印象であった。また、客室がエントランスと同じ階であり、客室の通路まで絵画が並べられていて、すごかった。日本語が話せる船員がいると事前に聞いていたが、日本人ではなく外国人で、さらに避難訓練の連絡等ほぼ英語で伝えられたので、戸惑うことも。
9. 最初にイメージしていた船員さんの態度はアメリカの会社であるため、もっと日本人に不愛想なのかと予想していたが思っていた以上に対応が良いぞ。また、日本人のスタッフも豊富で何かあれば日本人が対応してくれる点に感心した。エントランスについては想像通りでとてもゴージャスで自分も外国人になったかのようで優雅だ。
10. 乗船前ダイヤモンド・プリンセス号が大きいのは見てわかっていたが、実際に乗船してみると、部屋は想像より狭い。その一方で、客が使用する施設はサービスから規模まで桁違いにクオリティーが高い。また、2700人近くの人が乗船する事から、船の中は混雑して大変なのかと思いきや、しっかり配慮されており、快適に過ごすことができそうだ。
11. 赤井先生に事前にエントランスなどの様子はガイドンスで見せていただいていた

- けれど、それでもとてもきれいで驚いている。実際、船員さんはみなとても愛想がよく、すれ違うといつもニコニコしながら声をかけてくれるのがうれしいんだな。
12. 自分が想像していたのはものすごく華やかで、それこそ別世界のような空間だとイメージしていたが、入ってみたそのハードルをはるかに高く超える華やかさに驚きを隠せない。自分の人生観が変わるとはこのことを言うのかというぐらい自分には目の前の景色が素晴らしすぎて、船の大きさ、設備の華やかさ、クルーの上品さを含め、言葉では表しきれない素晴らしさがある。
 13. 乗船直後は、船内がクルーズの中とは思えないぐらいに綺麗で充実していて驚いた。また、想像以上にお客さんが外国人の方々でそこにも驚きを感じる。そして、従業員も外国人の方が多くて英語をろくに話せないので大丈夫か少し心配。
 14. 乗船直前の日本人スタッフの対応はすごくよかったが、乗船手続きを行っている外国人スタッフは少し不愛想を感じる。やはり外国船籍の船だからお客様対応も海外仕様なのだろうか。船内に入り飛び込んできた光景に思わず息を飲んだ、本当にこんな世界が存在するのだと思ったのである。きらびやかな装飾品の数々と船内とは思えない解放感に胸の高鳴りを抑えることができない。
 15. エントランスのホールにでた瞬間、天井の高さにここは本当に船なのかと驚愕。すれ違う船員さんが笑顔で会釈してくれたり話しかけてくれたりして、優しい。外国人客が多く、私は場違いなのではないかと感じる。
 16. 乗船直後の感想は、これは本当に船の中なのかということを思った。まるでホテルのようなエントランスに、船員さんはほとんどが外国人で、異国に来たかのような感じだった。船員さんはとても親切で、かっこいい！
 17. あっさり乗船してしまい、「もう船の中？」と思えるほどだ。クルーズカードをチェックしてくれた船員さんはフレンドリーでアメリカという感じがする。船の中は大きくて迷子になりそう。部屋は思っていたよりも広く、内側だと思っていたら海が見えてうれしい！
 18. 船員の方は、いつも笑顔で挨拶をしてくださるので、とても気持ちが良い。ロビーはすごく豪華で優雅な気分になる。私たちの部屋は窓が付いている部屋で、海がキラキラしてたり、港が見えたりして最高だ！デッキでは海の風が気持ちよくて、幸せ！



第2部 <クルーズ船>

(1) 船内施設（ハード面）の感想（船内施設・施設のレイアウトなど）

1. アトリウムはホテルに引けをとらないフロント・ロビーがあり、さらに私が泊まる部屋へはアートギャラリーを抜けていくため、雰囲気良く部屋まで到達した。しかし今回泊まる部屋は内側ということもあり部屋の内装的にはビジネスホテルとそう変わらず、船であるためか、または私が日本人であるからか、シャワールームやトイレの施設は物足りなく感じた。そして窓がないのは仕方ないが、そうであるならば壁時計は欲しい。
2. 広すぎて何度か迷いそうになりました、階が途中で切れていて移動しづらい部分（レストランなど）があり、これも船ならではのかなと思いました。船の右側左側が似ていてわからなくなり何度か間違えたので、エレベーターのところにホテルみたいに表示があればいいなと思いました。
3. クルーズ船の船内施設は、階層的には十数階あったのが自分の中では驚きでした。ホテルとしての機能も当然に重要であると考えていましたが、効率的に作られた部屋が並んでいたため部屋数がとても多く見えました。しかし、あまりにも左右対称だったのでどっちが自分の部屋の方向か間違ってしまうこともありました。



4. 一度クルーズに乗っているのと、船自体が前回よりも小さいからかもしれないが、前回よりも施設のレイアウトを把握するのが早かったように感じた。特に、船の中央付近（プールやバーなど）はどこに何があるのか分かりやすかった。逆に、パターゴルフやバスケコートは分かりにくかった。
5. 前回の船は中央に大通りが一本あったので道が分かりやすかったが、今回の船ではそれが無かったので、下船まで道に迷い続けてしまった。また、お洒落なバーが多かった。エレベーターが待合スペースの前後左右にあるせいで一目で見渡せず、どのエレベーターが来たのか分かりにくかった。
6. 6階が通り抜けできないのが不便だ。特に6階にはレストランがあり毎日行き来するだけに不満を覚えた。エレベーターの反応が悪いようにも感じた。船内設備がほぼ同じフロアに集まっていたのは場所を覚えやすかった。
7. ビュッフェが14階まで行かないといけなかったものでちょっとなにか食べたいなーと思ったときに少し時間もかかるし遠いなと思った。5階のアートギャラリーを

通るたびに素敵な絵を見ることが出来て日本の建物やホテルやお店も絵を飾ればいいのになと思った。

8. 5階・6階・7階にショップやバー、シアターなどが集中し、広い船内でも迷わず行動ができる点良かった。また、外のデッキによって船の前方部と後方部がつながっていたので、船の全体像をイメージできていなかった最初の方は助かった。最上階にあったプールは、場所によって卓球台やバーがあるなどバラエティがあり、飽きが来なかった。
9. 豪華客船のせいかやはり船内施設はとてつもなく広かった。そのため移動が大変であった。自分は特に気にならなかったが船内の揺れに関しては不快に感じた人も多数いた。何か期待するものがあるとしたら潜水艦のようなものを船の下部に付け、海の中を閲覧できるような施設等もあれば楽しいかもしれない。
10. それぞれの階の作りが同じで、部屋のドアも一緒のため何回も迷子になった。今回私は出会わなかったが、体が不自由な人がいた場合に備えてのバリアフリー化というものクルーズにはあまりなかったように感じる。車いす席といったものはあったものの、通路は狭く、体が不自由な人には大変なのではないかと感じた。
11. 船内施設や施設はとてつもなくきれいだった。中には有料でしか入れない場所も多く存在したが、無料でいける場所も多くあり、十分すぎるくらいだった。
12. ハード面に関して、文句のつけようがないクオリティーであった。なぜ船の屋上にプールがあるのか、なぜ各部屋にシャワー等が完備されているのか。水はどこから出てくるのか疑問は止まなかったが、素晴らしいの一言であった。アトリウムの華やかさは格別で、あの空間にいただけで自分もセレブになったような気がして、少し心地よかった。
13. 船内のハード面に関しては、船内どこを歩いていても豪華で煌びやかであり、感動した。一般の学生では、体験したことのない空間は非日常的でありいるだけで楽しかった。また、最初はどこに行くにも迷っていたが、だんだんと慣れると迷うこともなくなり快適に過ごせたと思う。
14. 船内施設に関して、船内のプールやシアターといった施設や置物や絵画をはじめとする装飾品が、プレミアムクラスという船のランクをよく表しているのではないかと感じた。施設全体がどこことなく落ち着いた高級感を演出していると感じた。しかしながら、細かいことを言うとエレベーターの運行管理については、少し改善したほうが良いのではないだろうか。1つのボタンでエレベーターホール内すべてのエレベーターが呼べなかったり、不可解な運行をしているエレベーターが多々見受け



られた。

15. 客室から共同施設まで、どれに対しても豪華という印象を持った。乗客が多いので共同施設はかなり混むのではないかと懸念していたが、実際はそのようなことはなく、ストレスなく過ごすことができた。
16. 広い船内なりによく考えられて配置されていると思う。客室から船内施設まで遠いのは仕方のないことだが、利用者の目的に応じて部屋を提供したりするともっと効率よく船内で生活できると思う。ただ、船内はとても広いので難しいのではないかと思う。
17. パッと見て船の中は豪華だと思った。航海中にプールで泳げたり、卓球をしたり、シアターでショーを見たりして、船の中でも十分楽しめるのは良いと思った。また、サウナやエステなどもあり、船の中とは思えなかった。しかし、大きすぎるのと、吹き抜けがあるのでなかなか目的地にたどり着かないこともあった。
18. ダイヤモンド・プリンセスは吹き抜けがあって、なかなか場所が覚えにくかったです。去年も参加したのに、迷いました(笑) 私は1日もあれば、場所の把握が出来ました。初めてダイヤモンド・プリンセスに乗る人は少し時間がかかるかなと思います。エレベーターで一緒になったご婦人も、場所が覚えられなくて大変だと言っていました。

(2) 船内サービス(ソフト)の感想(食事内容(レストラン・ルーム・カフェ・ハンバーガーバー・ピザバー・アイスクリームバー)、サービス・オペレーション(キャビン清掃、ホテルレセプションサービス、カジノ、その他船内の各部門オペレーション))

1. レストランは想像通り華やかで、美味しいものをいただけた。初めはフリーのサービスと有料のものの区別があまりつかなかった。ハンバーガーも普段口にしない所謂海外のハンバーガーであり、乗船直後に食したためクルーズへの期待感も相まって益々高揚した。避難訓練で使用したカジノは思ったより大きくはなかった。カジノは重要な収益源であると聞いていたため、テーブルがもっとあると思っていたがそこまで多くはなかった。また利用客もそこまで多くなかった印象を受けた。しかし個人的にはディーラーと一緒にプレイしたお客さんともコミュニケーションを取ることが出来たため非常に満足した。ルームサービスを利用した限りでは、満足行くものだった。電話先もわかりやすく、ガイドブックにメニューもきちんと書かれていたため特に不備や不満は感じなかった。清掃に関しては、一



見とても丁寧にやられている印象を受けた一方、冷蔵庫には前の乗客が残したであろう果物や、ベッド下には小説や衣類などがあり、行き届いたサービスであるとは感じられなかった。

2. 食事はいつでも食べれるビュッフェやハンバーガーのクオリティが高くてとても驚きました。バーのお酒のカクテルはただ混ぜているだけという感じで残念でした。清掃など、客数があんなに多いのに、毎日しっかりされていて驚きました。
3. 船内サービスはとてもよく、キャビン清掃なども8日間ありましたが、何の不満もなく過ごすことができました。また、食事については、文句の付けどころはなくおいしい料理を値段を気にせず食べれるというのは特別な感覚になりました。
4. 食事内容は聞いていた通り前回の船よりも良かったと思う。特に、オマールエビをメニューで発見したときはテンションが上がった。細かいところでは、無料のピザとアイスクリームがとてもおいしかった。不満だったのは前回に比べて各エリア（バーやカジノ）の閉店時間が早かったこと。1時ぐらいまで開けていてくれるともっと楽しめたと思う。
5. レストランでの食事が美味しかったのに加えて、ハンバーガーバーのハンバーガーがとても美味しかった。肉の味がしっかりするパティで、こんなに美味しい物を追加料金無しで提供するのかと感心した。キャビンの清掃をこまめに行ってもらえたのも良かった。
6. レストランの食事は5月のときより質が高く日本人の口にあうと思った。ハンバーガーバー、ピザバーで出されるものが大きすぎて日本人向けではないかもしれない。自分の部屋も含めて船内は清潔で快適だった。日本国内では利用できないカジノも安心して楽しめるのも嬉しい。
7. ルームサービスは種類が豊富で美味しく24時間頼み放題なので非常に便利だった。しかし船内会計とは別に支払うチップを払うべきなのか払わなくてよいのかわからなかった。ずっと払わないでいたらルームサービスのときに食事を運んできてくれたクルーの方ががっかりしているような顔だったに加え、初日に比べて掃除が雑になっているように感じた。
8. ルームサービスは24時間使える上、オーダーシートを使えば朝指定した時間に持ってきてもらえるなど、全体的に利用しやすいシステムだった。英語でも日本語でも対応してもらえる点も良かった。自分たちが不在の時の定期的なキャビン清掃のみではなく、頼めばすぐに清掃してもらえる点なども船内で過ごしやすい点の一つであった。




9. 無料で受けられるサービスが豊富でとても満足した。特にプールサイドにあった、ハンバーガーバーにはほぼ毎日通い詰めた。プールサイドで日に焼けながら食すピザや、ハンバーガーは最高だった。キャビン清掃としての役割がきちんとしていたところには感心した。食事のウェイターも日本語で対応してしていてよかったと思う
10. レストラン、ピザ、ハンバーガー、アイスクリーム、ルームサービスの食事を食べたが、どれもおいしく、ウェイターのサービスも素晴らしかった。また、日本語のメニューがあったりと日本人の対応もしっかりしていた。ビンゴをした際には、ユーモアあふれるスタッフが盛り上げており、楽しい時間を過ごした。
11. 食事はレストランで毎日いただいていたが、どの日のメニューもとてもおいしかったし、ところどころ日本食が混ざったりしていて飽きないものであった。
12. 清掃のお兄さんと仲良くなれた。というのもクルーの方々がみなさん気さくで、拙い英語にも付き合ってくれて熱心に話を聞いてくれるぐらい人のいい方ばかりであった。ただ、少し気になったのが、ハンバーガーバーのお兄さんが少しだけ怖かった気がする。
13. 船内のサービスについては、従業員の方とすれ違う度に笑顔で挨拶をしてくれて、すごく良い気持ちになった。また、ディナーの時は会話をしてくれて楽しませてくれた。しかし、サービスカウンターでは対応が遅く、いらいらさせる場面もあり不満に思う時もあったと思う。
14. 船内サービスに関して、特に食事内容については、こんなにも満足できるような場所はほかにないのではないかと思うほどであった。朝から晩までフルコースを堪能でき、お腹がすいたらいつでもビュッフェやハンバーガーショップなどで満たすことができる。まさに夢のような世界である。深夜であっても無料のルームサービスがあり、お腹が一杯でない時間はないのではないかと思うほどであった。また、客室の清掃が1日に何度かあり、常に快適に過ごせたのも印象的であった。
15. レストランやフードバーなどは、これで追加料金を取らないのかと驚くくらい高いクオリティーだった。困ったことがあってもすぐにスタッフがにこやかに対応してくれて、サービスに対しても満足している。ただ一つ残念な点を挙げるとすれば、下船前日の部屋の清掃が少し雑であったことが気になった。
16. 船内サービスはとても充実していた。特に食事面に関しては最高だった。無料で食べられるハンバーガーやピザやアイスは、無料なのにとってもおいしかった。また、24時間いつでもルームサービスが利用できる点は素晴らしかった。食事面では何の




不満もなかった。

17. レストランでの食事は毎日内容が違って飽きなかった。ただ、ビュッフェで出るフルーツの種類がもっとたくさんあればよいと思った。ルームサービスもすぐに運んできてくれ、味もおいしかった。クルーズに乗ってから数日後にクルーズカードが何回も使えなくなったが、その度に丁寧に対応してくれた。
18. カジノやバーが夜遅くまで営業していないため、夜中はあまり楽しめないように感じました。24時間営業ではなくてもいいですが、もう少し遅い時間まで営業をして欲しいなと思いました。レストランの食事やサービスは、とても満足です。ビュッフェで食事をする際のドリンクに関してですが、毎回ウェイターさんが飲み物のオーダーを聞きに来てくれます。しかし、何があるのかわからないため、毎回水かレモネードしか言えませんでした。ドリンクのメニュー表があればいいなと感じました。

(3) 船内SHOW, エンターテイメントの感想(船内鑑賞イベント全般、プロダクションショー、落語)

1. 船内でのショーは、クルーズを代表するイベントであると感じた。船内パターが部屋に来るとすぐに、明日のショーは何をやるのかチェックし毎日楽しみにしていた。初日にバイオリン奏者によるショーが行われ、ステージ近くの席で鑑賞したこともあり非常に惹き込まれた。それから毎日ショーが楽しみになったため、最初のショーの大切さを感じた。2日目のピアノマンでは世代や国籍問わず知られている音楽が演奏されており、学生でも楽しめるものだった。また社交ダンスやポップオペラなど、興味はあるが普段体験し得ないことを間近で鑑賞することができるということが私としては最も楽しかったと感じた。
- 
2. 今まで見たこともないショーでどんなものか、英語だけどわかるのだろうか不安でしたが、007のテーマや有名な曲が多くてすごい楽しむことが出来ました。クルーズの芸を見るショーは肩肘はらずみれて面白かったです。
 3. SHOW自体を見ることがあまりないので、SHOWは新鮮に感じましたし、実際に自分のこれからの人生の経験としてプラスになったと思います。また、SHOWの内容もとても心が弾むようなものが多く、とても楽しめました。
 4. 前回のクルーズでショーにとっても感動したので今回も楽しみにしていたが、今回のクルーズのショーも前回と同じくらい良かった。個人的にはバイオリニストの回が

最高だったと思う。他にも船内ではギターやピアノの弾き語りなどもちらほら行われていて楽しめた。

5. プロダクションショーは前回乗船した時と同様、これを毎日タダで見られてしまってよいのかと思えるくらい素晴らしいショーだった。また、プロムナードやバーでのバンドやミュージシャンによる生演奏が多かったのも、音楽を聴くのが好きな私にとっては嬉しかった。ダイアン吉日さんの落語は、演目に外国の方がやるからこそその面白さもあって、非常に楽しめた。
 6. 感じのよいショーだった。5月のときより、ショーや落語のような鑑賞イベントに関心のあるお客さんが多い印象をうけた。落語は外国人の方が行っており、英語と日本語を交互に話すのは面白くクルーズならではの味があった。
 7. 野外映画館が一番魅力的だった。もともと映画が大好きで、夜に星の下で風に当たりながら寝ながらゆったり映画を楽しめるなんて夢のようで毎日一人で通っていた。マイナーな洋画を上映するのかなと思っていたが、カンフーパーンダやスターウォーズなど日本語でなじみの作品も上映されていて満足だったし、意外と映画を見に来る人が少なく厄介な席とりなどもなく満喫できた。
 8. 普段、ショーなどを見ない自分にとって、全日程の夜にシアターで行われていたショーが大変面白いものであった。見たショーはどれも素晴らしいものであったが、個人的には2日目のバイオリニストのショーが気に入った。また、5日目に行われた落語も日本語と英語を組み合わせた新しい形であるにも関わらず、要所でうまく英語と日本語を使い分け、大変面白い話だった。
- 
9. ショーのなかで一番感激したものはプロダクションショーであった。たくさんの歌手やダンサーが出演しており、今までの人生でこのような素敵なショーは見たことがなかった。落語は評判がよかったため見に行きたかったが残念ながら行くことができなかった。
 10. ショーでは、ヴァイオリンとプロジェクトマッピングショー、落語を見た。ヴァイオリンのショーでは、知っている曲から知らない曲まで様々あったが、弦がイルミネーションされていたりと楽しませる工夫があった。プロジェクトマッピングショーでは、ダンス、演奏、歌を楽しむことができた。落語では、英語の部を見たが、外国の方でもわかるような簡単な話だったが、話し方、しぐさ一つで面白さが全然違って来るのだと感じた。
 11. プロダクションショーはとても華やかできれいだった。普段自分から見に行ったり

はしないものなので、興味深く、また新鮮で楽しかった。

12. 船内のイベントは、常にどこかで、何かしらのイベントがあった気がします。全部見切れなかったのが少し残念だった。参加型のイベントや、プロダクションショーなど様々なスタイルのイベントが行われていて見どころが多かった。
13. 船内のSHOWについては、本当に感動した。歌をメインとしたSHOWを見て、このように生で見て聞くのは初めてであったため、これからも見に行きたいと思うぐらいに良かった。洋画が好きなため、曲ごとに迫力にある歌に自分がこれまで見てきた映画が思い返されて良い時間が過ごせたと思う。
14. 乗船して最初に船内SHOWを観に行ったとき、はっきり言うとあまり期待はしていなかった。しかしながら、私は、船内SHOWを観た瞬間その虜になったのである。それからは、毎晩の船内SHOWが私の毎日の楽しみであった。前方の席を早くから行ってでも取りたいと感じさせるほどのSHOWだったと私は思う。
15. シアターショーを一度鑑賞しただけだが、揺れる船内で完成度の高い演奏やダンスを披露しており、素晴らしいと感じた。ディナー前に立ち寄ったが、ちょうどいい時間にショーが終了したので時間管理も徹底していると感じた。
16. 船内SHOWやエンターテイメントも充実していた。船にいることを忘れさせるくらい素晴らしいショーを見ることができた。今まで、ショーを見たりする機会はなかったが、これを機にショーなどの面白さを知ることができ、とても興味を持った。もっと早くからこれらの魅力について気づくことが出来ればなと思った。
17. 船内ショーはあまり期待していなかったが、間近で演奏しているところや歌っているところを見ることができ、とても感動して鳥肌がたった。司会の日本人とアメリカ人？の人のやりとりもジョークなどを交えていて楽しかった。また、厨房ツアーに参加したが、料理を作っているところを少し見ることができよかった。
18. ショーもエンターテイメントも充実していて楽しかったです。特に歌とダンスのショーは見ごたえがあり、素晴らしかったです。船内の冷蔵庫に入れるツアーがあると楽しそうだなと思いました。（厨房見学のツアーには参加しました。）ショーの最後に明日の寄港地のアナウンスや、その日に行われる他のショーの案内があったので、わかりやすくて良かったと思います。実際、ショーを見学し、そのショーの最後に落語の案内があったため、落語鑑賞に行きました。



(4) 船内スポーツ・体験施設・内容の感想（泉の湯、ジャクジー、プール、ジムほかスポーツActivity）・体験型イベント（ワインテイスティング・フラダンス・プールサイドダンス・バルーンドロップPARTY など）

1. プールやバスケットコート、パターゴルフなど船上で体験できるアクティビティは7泊8日の行程としては多いのかなと感じた。私はスポーツ施設をかなりの頻度で利用したが、周りを見る限りそこまで多くの人がアクティビティに熱心ではなく、どちらかと言うとプールサイドやデッキのベンチで海を眺めながらのんびり過ごしている人が多いように見受けられた。ワイン・テイスティングはアカデミーのグループワークが重なり参加は叶わなかったが、そうした魅力的なイベントが多く、毎日船内パターを読み、翌日のスケジュールで忙しい毎日を過ごすことが出来た。

2. ジムのマシーンが台数が多くて驚きました、しかしトレーナーなどが常にいるわけでないので、使い方に困っている人が多かったように思いました。バルーンドロップPARTYはとにかく楽しかったです。



3. プールや卓球、ゴルフなどを楽しんだ。また、船内イベントに参加し、クルーズの空いた時間も無駄なく埋めることが容易にできるということも分かった。バルーンドロップPARTYは言い表すことはできないが音楽に乗って一体感が生まれて、とても楽しめました。

4. プールには2日に1回ぐらい入っていた記憶があるが、前回のクルーズでは屋外のプールが少し汚かったが、今回は屋外のプールもきれいで安心して楽しむことができた。バルーンドロップPARTYは皆で踊るダンスが非常に楽しく、バルーンが落ちてきたときは圧倒された。

5. 卓球はラケットにラバーが無いのが残念だったが、久々にやれて楽しかった。プールサイドダンスやバルーンドロップPARTYなどダンスイベントがたくさんあったが、乗客の年齢層が高いからか、あまり盛り上がりず穏やかなイベントになっていた。

6. やはり大浴場があるのが嬉しい。寄港地や船内で遊び疲れた後は特にありがたい。日本人は、大浴場を利用できることに喜ぶ人が多いと思う。ジムは設備が充実しており良い意味で期待を裏切られた。前回見られなかったバルーンドロップも真下で楽しめたことにも満足。

7. 海外に行ったのは釜山だけであったが外国船で乗客が半分外国人、クルーも外国人が多く英語が飛び交っていたので日本の海上にいながら、海外にいる気分を味わえた。バルーンドロップパーティーは初めはクラブみたいに踊るのはどうなんだろうと思っていたが本当に楽しくて気づいたらのりのりで踊っていた。

8. 一度、泉の湯を利用したが、壁の多くを窓にすることで室内でありながら外を一望できる素晴らしい施設であった。また、泉の湯の中にある男女共用のジャグジーも船の後方部にあるため、ジャグジーでゆっくりしながら出航を見れるなど大変満足するものであった。ジムやプールも利用したが、船にあるとは思えないほど、設備が充実していたのがとても良かった。
9. プールはほぼ毎日入っていた。楽しかったが水位が深かったため、おぼれそうになった。そのため、フロントでのゴーグルの販売、浮わ等の販売があってもいいのではないかと思った。卓球やバスケも楽しめた。バルーンドロップパーティーも人生初の体験でよかった。もう少し、バルーンを増やしてもいいのではないかと感じた。
10. 毎日の日課のようにプールに入った。深さが2メートル近くあり、足さえつくことができず、あまり泳ぐことはできなかったが、映画、海を見つつ、ピザやカクテルを飲み、プールサイドで寝るのは最高な時間だった。卓球では中国とコロンビアから来たと思われる人と一緒に試合をした。またそのあと話をしたとき、単語、単語しか聞き取ることができなかったが日本が好きだという熱い思いを感じ取ることができた。
11. 泉の湯は一度利用したが、船内客室にシャワーしかついていなかったのもとてもよく、また3種類のお湯が用意されていて、それぞれとても楽しむことが出来た。また、高知から出港するとき屋外の泉の湯専用施設にいたので、港から出港する景色を楽しむことが出来たのがよかった。
12. 温泉には行けなかった。唯一残念だったのが、7泊8日で一回も湯船に入れなかったことだ。それでも入った人の話を聞くと、とても良かったとの意見を聞いたので入ればよかったと後悔している。ダンスパーティーやプールサイドイベントに参加したが、みんなで一体となって踊る事は初めてだったので貴重な体験ができた。
13. 体験施設では、泉の湯がすごく癒された。外の海を眺めながら入るお風呂は、客室がシャワーだけだったこともあり、大満足であった。また、バルーンドロップPARTYは、あまりダンスを踊ったことのないわたしでもハチャメチャで楽しめた。
14. 船内体験施設に関して、私は特にプールを利用する機会が多かった。利用している中で、思ったことはプールの水温が少し低すぎるのではないかということである。プールの水温が低いため、長時間泳いでいることができなかった。また、プールに隣接するジャグジーも水温が低かったため、温まることができなかった。また、プールから船外の景色を見ることができればより良いのではないかと感じた。クルーズアカデミーに参加した皆さんで踊ったバルーンドロップPARTYはとても楽しく、ま



た是非とも参加したいと思った。

15. 泉の湯とジムはとても満足している。海に囲まれながらお風呂につかったり運動したりする機会はなかなかなく、新鮮で楽しかった。バルーンドロップパーティーも、アカデミーの皆さんやそれ以外のお客さん、スタッフと交流できて楽しかった。
16. さまざまなスポーツ施設を利用させていただいたが、ジムやプールに関しては素晴らしい充実度であった。とくにジムはマシンも、普通のジムに置いてあるようなものがいっぱいあったため、利用していて快適だった。また、航海中に運動が出来るというのも、なかなか新鮮だなと思った。

17. プールは深すぎて驚いたが、子どもから高齢者まで楽しく泳いでいたので良いと思った。バルーンドロップパーティーが一番盛り上がっていたと思う。普段、あんなにたくさんの風船が落ちてくることはないので、船の中の特別な思い出になった。しかし、会場が少し狭かったこともあり、階段で見ているだけの人もたく




さんいたので、より多くの人に参加できるようになればもっと楽しくなると思った。

18. 油津観光後サウナに入りに行った際、片方のサウナが壊れていました。また、その時間は利用客が多く、シャワーを使うのに30分くらい待ちました。さらにシャワーが連続で稼働していたため、私が入った時はお湯がちょろちょろとしか出て来ず、とても困りました。混雑時は仕方のない事だと思いますが、すこし残念な気分になりました。屋内プールでのダンスパーティーは参加者が少なく寂しい感じがしました。みんなで来ればきっと楽しかったと思います。また、去年参加した際は屋内ではなく屋外でした。私は屋外の方が開放感が感じられ、また華やかさもあったと思うので、屋外でのダンスパーティーの方が集客率も上がるのではないかなと思いました。バルーンパーティーはみんなで踊って楽しかったです。後半は少し疲れてしまったので、半分ぐらいの長さで、その後にバーでお酒を飲めるような流れだと良かったと思いました。

第3部 <各港での対応及び魅力>

(1) 乗船・下船港(横浜)での感想(港・ターミナルの施設評価、乗船時対応の感想など)

1. 出国の手続きがあるはずなのに、飛行機と比較し非常に手軽な乗船手続きだったと感じた。大荷物であるため、横浜のように駅から大さん橋までの道がきちんと舗装されている街だと乗船は容易だと思う。また桜木町駅までバスも運行しており利便性は十分だと感じた。
 2. <特別に釜山から乗船>釜山での乗船の時に紙に2時集合と書いてあり、荷物を預けるとこに行ったのですが、何も書いて無く、係りの人も居なくてとても戸惑いました。変更があるならばなんらかの方法で表示などをしてほしかったです。
 3. 横浜港は、日本一という名にふさわしく乗り場としての環境はかなり整っていると思います。しかし、空港や主要駅と比べると全体的な設備にいくつかの改善点はあるように思えますが、利用人数を考えるとしょうがない部分もあると思う。
- 
4. 前回(マリナーオブザシーズ)は船の大きさの関係でバスで移動してから乗船だったが、今回はターミナルから直接乗船することができ、乗船が楽に感じた。前回と今回の乗船を比較すると、顧客目線からは今回の方が圧倒的に楽だったので、ベイブリッジの手前に超大型客船用のターミナルを建設するのは有意義なのだろうと感じた。
 5. 流線形の横浜大さん橋ターミナルは、見た目の格好良さもさることながら、段差が無いおかげでキャリーバッグを運びやすいのがありがたかった。出港セレモニーが無かったのは寂しかったが、横浜港は寄港回数が多いので各船舶その年初めと最後だけセレモニーをやるという聞いて、納得する事が出来た。
 6. ターミナルは休憩するスペースもあり快適だった。乗船手続きも簡潔で丁寧なので、適切であると思う。関東に住んでいる人間からすれば、横浜乗船横浜下船は、移動が楽で助かる。港へもアクセスしやすいのも良い。
 7. 横浜への到着が三時間ほど遅れ、船内放送が入ったがそのまま部屋にいていいのか、部屋を出た方がいいのか指示がなかったのでわからなかった。仕方ないことだが、荷物がターミナルに到着するのが遅くて待ちくたびれてしまった。横浜港について帰るときもう終わりなのかと悲しかった。

8. ターミナル内が広く、大人数で待機しても問題なかったのも、大変利用しやすかった。一方、手荷物受取の待機してる列が並んでいるのかどうか分かりづらく、カウンターが空いていることに気づけなかった。手続きについては、不安もあったが、事前に何を準備すればいいのか伝えられたため、わからないこともなくスムーズに進んだのがとても良かった。
9. 横浜に何度か訪れたことがあったが、船に乗ることは初めてであった。港までの道中には階段が一回もなくとても感心した。横浜港はバリアフリーが充実しており、体が不自由なお客様に対しても日本のおもてなしを強調している港であった。寄港するターミナルもとても景観がよく、環境整備がとても充実していた。
10. 私達への対応も英語で戸惑ってしまった。まずは英語が話せるかといった気遣いがほしいと感じる。出港までの流れもスムーズで、すぐに乗船することができて良かった。ターミナルはとても開放的だったが、広すぎたため、地図を探すのも一苦労だった。
11. あいにく天気がよくなかったが特に混んだりすることもなく乗船・下船をすることが出来た。横浜港はとても混雑しているイメージだったので驚いた。またターミナルでの誘導もとてもスムーズで、よかった。
12. 横浜港はとても設備が良く、特に問題はない気がする。ただ一つ加えるならば、トイレの場所・喫煙所等の標識をもう少しつけた方がいいような気がした。タクシー乗り場などの狭さも少し気になったが、別段問題はなかった気がする。
13. 横浜での乗船・下船の対応は、ターミナル自体は広く混雑もそんなにしていなくてよかったと思う。対応も素早くストレスになることもなかった。また、下船時には荷物の持ち運びに苦戦していると従業員の人が即座に助けてくれてよかった。
14. 横浜という場所は船のターミナルとしては、最高の場所であると私は感じた。乗船時の出国手続きといった諸手続きもスムーズであり、大栈橋の設備、デザインもよいものであったと思う。また、乗船後も船から見える景色はこれからの船旅がワクワクするような景色が広がっていたように感じる。特に、ベイブリッジの下を通過した際の光景は、船の大きさや速さといった船の凄さをよく体感できるものであった。
15. 乗船時は待つこともなく手続きを終えることができ、良かった。下船時はタグに示された時間に行っても荷物が出てきておらず1時間ほど待ったので、その後予定がある人は困るだろうなと思った。税関の紙の記入について質問した時のスタッフの対応が丁寧で、有難かった。



16. 乗船・下船時の感想は、とにかく人が多いなと思った。港を利用するのは初めてだったので、横浜港の規模がどのくらいのものであるか分からなかったが、他の寄港地を見てみて、横浜港がいかに大きいかが分かった。施設や乗船時対応などは特に問題はなかったと思う。
17. 駅からターミナルまでのアクセスがよく、ターミナル付近には赤レンガ倉庫など時間をつぶせる場所もありよかった。乗船時は混雑していたが、係の人が慣れているようだったので割とスムーズだった。ターミナルもきれいで、デザインも素敵だと思った。もっとターミナルの中にお店があればターミナル内でも過ごしやすいのかなと思った。
18. 横浜港は整備されていてとてもきれいでした。港という感じが無くオシャレな雰囲気乗船出来たので、ダイヤモンド・プリンセスのような豪華なクルーズ船に乗る際は、港にいるときから雰囲気が作られていて気分が高まりました！また、船を見渡せる屋上？もあり、素晴らしいなと思いました。乗船したのが後の方だったからかもしれませんが、特に長時間待つ事もなくスムーズに乗れてよかったです。もう少し施設内に椅子があれば、待ち合わせの時に座って待つことが出来たなと思いました。（奥の方にはあったのですが、初めはそれに気が付きませんでした）

(2) 釜山港の感想（乗船下船時対応の感想、寄港地の魅力）

1. 下船手続きは想像以上に容易だった。この手続きの簡易化がクルーズをストレスフリーで楽しむための1つの要因であることを感じた。釜山は韓国第2の都市ということもあり、発展した場所だと思っていたが、予想に反してあまり大きくなく大都市のような雰囲気はあまりなかった。特にビルは建ち並んでいるもののテナントが入っていないところが散見した。また、かなりゴミで汚れており匂いもあまりいいものではなかったため、クルーズの寄港地としては再考すべきだと感じた。しかしチャガルチ市場など、屋台が多く出店しており手軽に韓国料理を食べることができるため、食べ歩きはとても新鮮な体験で楽しむことが出来た。そのため釜山に行ったことのない人には寄港地としてまだ採用できるかもしれないが、もしまたクルーズに乗る際に釜山が寄港地であれば、私は間違いなく別のクルーズに乗船すると思う。
2. <特別に釜山から乗船>日本語が堪能な人がとても多くて驚きました、日本人がよくくることもあってか、タクシーの運転手さんが日本の事にとっても詳しくかったです。そのため、日本人の人が安心していける都市だと思いました。しかし、日本に帰っ



てから地図を見ると、空港から港に向かう際、遠回りをされていたことがわかりました。そのため、知識がないとぼったくられるのかと思いました。また港にWi-fiがなくなにも連絡などもできなかつたので少し不安でした。

3. 寄港地としては、港から繁華街までは遠いということはなく港町として発展していると思います。繁華街には、多数の両替所もあり、外国人利用者を意識できているという点は先に進んでいると思います。そして、屋台などで韓国特有の食事なども感じる事ができたので、とても満足しました。下船時は、外国ということで手間も少しありましたが、思っていたよりもスムーズに行けていたので日帰りで利用するには素晴らしい対応であったと思います。
4. 下船はとてもスムーズに進んだと思う。屋台では普通に日本語が通じたため、日本人にとっては魅力的な寄港地であると感じた。また、両替店もいたるところにあり、両替をしそこなつても十分に楽しめそうであった。
5. 船を降りてからシャトルバスに案内するまで、しっかりと動線が確保されていてスムーズに移動出来た。釜山の街は港が近いからか両替店が多く、ウォンを用意していなかつたので助かつた。出店がたくさん並んでいる光景が、下町感を感じられて良かつた。
6. 外国だと思えば、さほど不満はない。それでも日本に比べると対応もそつげなく感じた。日本の港に比べると、それほど歓迎ムードではないような印象を受けた。港からバスもすぐ利用でき、大きな不満はない。両替所の場所が分かりやすいと安心するかもしれない。
7. 釜山に降りたときは海外であるし前日は一日航海で移動時間が長かつたので、やっと着いたー！海外だー！という興奮があつた。山の上に何棟も家が建っている光景は日本ではみないものであり、韓国ならではの感じた。商店街のほうにでて歩いて回るとき、天気が曇っていたのとまちの臭いが臭かつたので少しどんよりた気分にもなつた。
8. 外国であるため言葉の問題もあるかと思つたが、対応もわかりやすく手続きもスムーズであつた。最初に訪れた寄港地であつたため、写真撮影に驚いたが、乗船下船はしやすかつた。しかし、釜山市内まで出るシャトルバスは少しわかりづらかつた上に、帰りは街中で大勢並ばなければならなかつたのが少し残念だつた。
9. 釜山は寄港してから船に戻るまでの時間が少なかつたため、せつかくの海外の寄港地であるはずが、全く落ち着く時間がなく、ゆっくりとした観光ができなかつたの



が残念である。日本でも有数な寄港地である横浜と比較すると釜山はまだ伸びしろがあると思った。

10. Wi-Fi環境がなく、とても残念だった。

また、日本語はともかく英語の単語すら通じなく、コミュニケーションが取れなくて困ってしまった。韓国語を少し覚えておくべきだったと後悔した。釜山ではモールに行き、そこでビビンバや冷麺、スンドゥブを食べた。味はおいしく、日本と比べ食事につく付け合わせが多かったことが印象的である。




町は、きれいで整備が整っている所もあれば、下水道のせいか匂いがひどいところがあるなど行く場所によってさまざまであった。今回時間の制限もあり、多くの場所をめぐることができなかつたため、釜山に魅力をあまり感じることができなかつた。

11. 日本から出るのは初めてだったが、通貨が違うことを買い物等を通して感じ、また文化や町並みの違いにも触れることが出来て、新鮮だった。特に食事が日本とはまったく違っていて、興味深かった。
12. 横浜港を見た後に釜山港を見ると少し、規模が小さくなった気がする。釜山港に降りた時は海外に降り立った気がしなかつたが、街中に来てみると、周りの標識等が全く読めなくて、海外に来たなという実感が沸いた。
13. 釜山港では、乗船下船共にスムーズに進み良いと思う。また寄港地の魅力としては、最初に入ったお菓子のお店の定員さんが以外にも日本語が通じて、助かったのと同じにうれしく感じた。しかし、他のお店では、英語すら通じないところもあり、言語には改善余地があると思う。
14. 釜山下船時の対応について思っていた以上にスムーズな下船ができたという印象である。しかしながら、もっとスムーズな下船ができれば、よりよいものになったのは確かである。特に、釜山は滞在時間が短いため、下船時の対応が釜山観光の良し悪しを決めるといっても過言ではないのである。釜山そのものに関しては、私自身はあまり感動がなかつた。滞在時間が短かつたことに加えて、あまり日本と変わらない雰囲気であったため、海外に来たという感覚はあまりなかつたことが原因だと思われる。
15. 一番楽しみにしていた寄港地だったので、入国などで時間がかかつたことで観光できる時間が少なく残念だった。第二外国語で韓国語を勉強していることを生かし、現地の方と積極的に交流できて嬉しかった。立ち寄ったお店の店員さんが日本語を流ちょうに話していて、対応の丁寧さにすごいと思った。外国とはいえ日本から近

く日本語も通じるので、日本人でも手軽に楽しめることが魅力だと感じた。

16. 初めての海外ということで、気持ちが高ぶっていたが、意外に海外という感じがしなかった。しかし、街中に出てみると海外を感じる事が出来た。周りの標識が違っていたり、車が右側通行であったりと少し違和感を感じた。寄港地の魅力としては、釜山タワーに登ったときに思ったのだが、港湾施設が充実しているんだなという点だ。高いところから釜山を見渡してみると、もっと遠くまで行ってみたいなと思った。時間の制約があったので仕方が無かったが、もう少し時間をとって欲しかった。
17. 初めての観光だったが、港から市内までのシャトルバスも出ており、日本語を話せる係の人もいて安心だった。バスを降りて徒歩で行ける範囲にショッピングモールやタワーなどがあり、まわりやすかった。ただ、街中の臭いはどうかならないのかなと思ったのと、下船するときに時間がだいぶかかったのも、もっと効率的にならないのかと思った。
18. 釜山では、降りるまでに時間がかかり、かなり待たされたという印象を受けました。また、下船に時間がかかった事で、観光時間が少なくなっていました。市街地まで行くバスにはスムーズに乗れましたが、帰りのバスは待ち時間があり、そこも不便に感じました。船の滞在時間が決まっているので、なるべくスムーズに下船・乗船が出来るようにしてほしいなと思いました。

(3) 鹿児島港の感想（乗船下船時対応の感想、港地の魅力）

1. 鹿児島港は今回の寄港地の中では最も観光客にとって魅力のある街だったのではないかと感じた。まず港が綺麗であり、シャトルバスによる利便性の高さ、そして港だけでなく街全体が南国風に整備されていることがとても印象深く残っている。桜島があるため観光資源としても十分な魅力を持ち、黒豚や白くまといった食に関しても日本人ならば満足するのではないだろうか。1つ残念に感じたのは指宿へ行き砂蒸し風呂を体験するほどの時間の余裕が無かったことだ。この鹿児島で寄港地から電車等で1時間以上かかる場所へは、クルーズの時間制約上なかなか行きづらいと感じた。
2. 桜島を見ながら温泉に入れてとても気持ちがよかったです。夜の会食では九州の色々な食べ物が食べれて良かったです。鹿児島港の港湾局の人と色々なお話しが出来て良かったです。
3. 鹿児島港は鹿児島中央部から近かったため寄港地の魅力は、とても感じるどころが

あった。鹿児島には桜島などの景観としての魅力を備えている観光資源も豊富にあり良かったと思います。しかし、内湾という立地条件から寄港するには時間がとられるという問題もあると思います。

4. なんとなく街がさびれているのではないかと思っていたが、意外と栄えていて驚いた。また、桜島、温泉、食べ物と寄港地としてもとても魅力的なところだと思う。自分は桜島に行っていないが、東洋大は桜島に行ったということなので、桜島にスムーズに行けるのは港の立地的な強みであると思う。
5. 「マリポートかごしま」として広大な敷地を確保しているおかげで、大量のバスが1度に必要になっても困らないだろうなと感じた。目の前に見える桜島が大きな観光資源である事に加えて、大通りが思ったよりも都会で、商店街に土産物屋さんもあったので、ショッピングも楽しめそうだなと思った。
6. 港の植物が南国風で、本州の港と違いを視覚的に楽しめた。私のなかでは鹿児島は、桜島と焼酎のイメージが強い。桜島は展望大浴場から楽しめた。焼酎も鹿児島独自の飲み方を楽しめる店にも行け満足。全体的に鹿児島を満喫できたと思う。
7. 降りた瞬間暑くてそこらじゅうにヤシの木が生えていたので南の県に来たなー！夏だー！という興奮があった。シロクマをはじめ鹿児島名物の食べ物を全部制覇したいと思った。桜島に行ったがあいにくに雨だったので残念だったが、道の駅や茶色のファミマ、桜島に住む高校生などをみて島の雰囲気を感じることができた。
8. 下船した直後、南国を思わせるような立地な上、鹿児島の方からの熱烈な歓迎が印象的であった。少し歩けば、桜島が綺麗に見える場所もあり、寄港地周辺でも楽しめるところだった。また、時間がなく街中でお土産があまり買えなかったが、夜遅くまで港の方で物産展が開かれていたので、時間いっぱいまでお土産を見ることができたのはすごい良かった。
9. 鹿児島は寄港した際は、暑いにもかかわらず、港湾施設の現場で説明をしていただいた。体力の無い私は、辛かった。もう少し屋内に入り、涼しげな場所で説明を受けたかった。鹿児島の桜島に行った際はフェリーに乗り、移動した。初めての体験であったのでとても満足した。
10. 下船した時から、景観が南国の雰囲気みたいでよかった。鹿児島でまず白熊が発祥の地ということで本場の白熊を食べた。とてもおいしく、多くの人が行列に並んでまで食べたいという気持ちが分かった。次に船で桜島に渡ったのだが、突然の雨、



時間の制約で20分ぐらいしか滞在することができなく、桜島にはどんなものがあるのかなど何も知るができなかった。次来ることがあれば桜島をゆっくり観光したい。

11. 鹿児島には初めて行ったが、桜島に行くフェリーの景色がとてもきれいだった。またあいにくあまり天気がよくなかったが、商店街や路面電車も見る事が出来よかった。
12. 鹿児島港は下りた時のイベントの盛大さに感動した。鹿児島は午前中は快晴だったが、桜島につく頃は生憎の雨だった。しかし、鹿児島は景色もきれいでご飯もおいしく、何より船を下りた時の歓迎イベントが素晴らしかった。鹿児島で食べたシロクマがとてもおいしかった。なにより、観光という資源をうまく利用できている、PRできているなと感じた。
13. 鹿児島港では、しろくまや賑やかな商店街等見どころが満載であった。特に、寄港時間があまりない中、桜島に訪れることができ、すごく充実した時間が過ごせた。また、港付近でもお土産を買えるようにしていて、とても助かった。
14. 鹿児島は、私にとって初めて訪れる九州でもあったので、とても期待していた寄港地であった。寄港直前に見えた桜島は、とても迫力があり、鹿児島への期待を大きくするものであった。鹿児島に寄港し、観光をしてみて感じたことは、よく整備がされた街だなということである。大きな港が整備され、中心街の道路も広々と作られており、その中心を路面電車が走るといった光景は路面電車がない地域に住む私としては、感動であった。
15. 市街地は栄えていたが桜島方面は割とさびれていて、せっかくの名所なのだからもっと効果的に宣伝することが必要なのではないかと感じた。桜島に向かうフェリーを納涼船として運航する取り組みは鹿児島以外の自治体でも応用できると思った。夜の会食ではたくさんの方と話すことができたが、せっかくの意見交換会なのに鹿児島の方と意見を交わさなかったことが残念だった。
16. 乗船時・下船時の対応としては特に問題はなかった。親切に、現地での港湾施設の案内をしてくださった。桜島を見ながら説明を聞いたのは良かったが、体力の無い私には、ちょっと暑く辛かった。屋内で案内をしてくだされれば。寄港地の魅力としては、食べ物がおいしかった。特に手羽先。
17. 港のすぐ近くに桜島が見えたので、鹿児島に来た感じをすぐに味わうことができた。観光時間も長かったなので、鹿児島を満喫することができた。日本なので韓国とは違い連絡手段もあり安心して観光できた。



18. 鹿児島港では、日本ということで乗船・下船に時間がかからなかったのも、ストレスなく下船できました。天候が悪かったですが、一日遊べる時間があつたので、鹿児島を満喫できたと思います。行のバス・帰りのバス共にスムーズに乗れました。桜島が見れて本当によかったです！！

(4) 油津港（日南市）の感想（乗船下船時対応の感想、意見交換会、飫肥城散策（小村寿太郎館）、ビーチバレー企画、鶴戸神宮、油津商店街、寄港地の魅力）

1. 意見交換会では各港湾でのクルーズ誘致の取り組みに、触れる貴重な機会であった。まず日南市に王子製紙があること、そしてクルーズを誘致するためには両立させるための制約があり、油津港の方々の努力の詰まった着脱式の係船柱を知ることが出来た。政策提言のグループワークの場では考えもしなかった各港湾の制約を目の当たりにし、自分たちの調査や考えの甘さを痛感した。それら私にとって油津港での経験はいい勉強になった。この度、日南の方々の多大なる御協力で日南市の持つ様々な魅力に触れる機会があつた。広島カープのキャンプ地としては知っていたが、飫肥城や鶴戸神宮は来てみるまで全く知らなかった。行ってみると城周囲の街は一体となって盛りたてるために協力してやられていることや多種多様なお店が立ち並びとても魅力的だと感じた。油津商店街でも美味しいシュークリームとエクレーアをいただくことができ、本当に色々な魅力を肌で感じる事が出来た。そしてビーチバレーそのものも楽しんだが、お昼に地鶏や海産物を使ったパエリアは特に美味しく、最も印象に残っている。宮崎は地鶏や豚、野菜などのイメージが強かったが、海産物も非常に美味しいので全国的にもっと知名度が上がっても良いのではないかと感じた。ビーチバレーのようなアクティビティはクルーズ客に利用してもらうためには、クルーズ客がファミリー層であることから幅広い世代の方に楽しんでもらうことの出来るものも増えればとても良いと感じた。また地鶏や豚など美味しいものをクルーズ客が手軽に楽しむためには、高知港のひろめ市場のような建物があると素晴らしい寄港地になるのではないかと思った。
2. はじめは名前の読み方も知らない町でしたが、町が一丸となって、クルーズを利用して、町おこしをしていることに驚きました。鶴戸神宮や飫肥城などまだまだ知名度がないけれども魅力ある観光地を回れてとても楽しかったです。
3. 日南市では、大変な歓待を受けとても満足しました。もう少し時間もほしいと感じ



ることもありましたが、それほど楽しめたということだと思います。ビーチバレーなど体を動かしたり、パエリアなどの食べ物を食べたり、歴史の博物館を見るなど、1日としてとても充実した日になりました。

4. おもてなしがすごかったのでとても満足した。日南の良さを堪能できたし、日南市の方々のクルーズを通して地域を活性化したいという思いが伝わった。ただ、商店街の活気が全くなかったように感じたし、あのままだとクルーズのお客さんも足を運ばないのではないかと思った。
5. 朝の意見交換会から夕方の商店街視察までスケジュールを組んで連れて行って下さったおかげで、非常に充実した1日を過ごす事が出来た。ガイドして下さった山下さんのバス内での話の展開がとても上手く、自分もあのくらい喋れるようになりたいと感じた。ビーチバレーでは、砂の上で動く感覚を楽しむと共に、少ししかやっていないのにすぐ息が切れた事から運動不足を痛感した。
6. 非常に丁寧な案内で、プロのガイドかと思うほどだった。今回のクルーズで初めて油津のことを知ったが、充実した内容で一番印象的だった。商店街も規模は小さいものの、工夫が施されていて、東京でも見かけそうな雰囲気も所々あった。
7. 朝早くに到着したのにも関わらずお出迎えのお囃子や人間で再現した馬などが印象的だった。寄港地で一番クルーズで市を活性化させてやろう！という熱い思いが伝わった。海で頂いたパエリア鶴戸神社の運玉を投げる営みがとくに印象的だった。
8. 油津港は、寄港した中でも人口が少ない方の地域であったが、港の盛り上げ方が最もすごかった印象がある。また、市内が昔ながらの城下町といった街並みであり、風景までも思い出せる素晴らしい地域であった。ビーチバレー企画では、純粹に面白かったという他に、ビーチバレーを通して学生、先生、自治体の職員の方の絆を深める機会にもなれたのではないかと思う。
9. クルーズ自体がだいたいのんびりした生活だったので油津港でのビーチバレーは斬新で楽しむことができた。ビーチバレーの際に日本代表の選手と一緒に試合をする機会を設けさせて頂いたり、クルーズの寄港地の中でいちばん思い出に残った。さらには町歩きは特に印象深かった。
10. とても楽しくビーチバレーをすることができて良かった。朝日健太郎さんのスパイクは本気ではないにしても素人の目からしたらとても早く、反応ができなかった。ビーチバレーのような企画をこれからも続けてほしいと思った。海に入ることができなくて残念ではあったが、そこでおいしいパエリアをいただくことができて良か



った。私は訪れた寄港地の中では一番宮崎が楽しかったと思っている。お店をめぐって券と交換で商品をいただく際、汗をかいていた友達にペットボトルの水をあげるなど親切な人がいたのも印象的である。

11. 小村寿太郎記念館は、高校で歴史等学んでいたが知らないようなことも多々あって新たにいろんなことを知ることが出来てよかった。ビーチバレー企画のときにいただいた海の幸パエリア・山の幸パエリアはとてもおいしかった。
12. 油津港はイベントが盛りだくさんだった。今回寄港したどの港よりも小さかったが、それでも人の活力で盛り上げている姿が伝わってきたので、個人的にはすごい好きな港であった。取り外し式可能な係船柱など随所に工夫が見られ、このような港が全国各地にできたらいいなと感じた。
13. 油津港の飫肥城では、券を渡すだけで無料でその土地のお土産的なものをもらえて、スタンプラリーみたいで楽しかったし、その土地の有名なものも知れる良い機会になったと思う。
14. 油津では、自治体の方々の厚いおもてなしが印象的であった。飫肥城や鶴戸神宮、海沿いの景色といったたくさんの観光スポットを回らせて頂いたことに、とても感謝しなければいけない。このような観光スポットを乗船客にアピールできれば、油津への経済効果は相当のものになるのではないだろうか。しかしながら、油津商店街に関しては、もう少し改善の余地があるようにも思えた。より多くの活気があれば、より行ってみたい商店街になるのではないか。
15. 市長自らが説明会やビーチバレー大会に参加してくださり、地方の活性化に熱心に取り組んでいるんだなと思った。街並みがとても綺麗で、古き良き日本を感じることができた。ビーチバレー大会の会場で地元新聞社からの取材を受けてアカデミーの注目度を実感した。商店街は綺麗だったが、休日にも関わらずほとんどのお店が閉まっており、このままでは人を呼び込むことが難しいのではと感じた。
16. 今回の寄港地の中で、一番歓迎して下さった寄港地だと思う。一日のスケジュールが盛りだくさんであった。日南市は決して大きい市ではないが、周りの自治体と協力して、地域活性化のために取り組んでいるんだなと思った。鶴戸神宮には初めて行ったが、景色も良かったし、みんなにおすすめできる場所だと思った。
17. 油津港の方々は私たちをすごく歓迎してくれて嬉しかった。油津のいいところを知ってもらいたいと考えていることがとても伝わってくるツアーだったと思う。普段あまり海に行かないので、油津のキラキラした海を見て感動した。また、商店街もひっそりとはしていたが、おしゃれなお店が何店もありこれから盛り上げていっ



てほしいなと思った。観光時間は結構あったはずなのに、時間が足りないと思った。

18. 油津では、沢山良いところを案内していただけて、本当に楽しかったです。特に街の散策は、おいしいものも食べれたし、雰囲気の良い街並みも見れて、とても満足しました！滞在時間が短かったため、あまり回れませんでした。もっと散策したかったなと思いました。その後行った神宮は見晴らしがとても良く、気分爽快でした！途中で食べたマンゴーアイスもとっても美味しかったですし、とても良い思い出になりました！また港でのブースも他の港より大きくにぎやかな印象がありました。

(5) 高知港の感想（乗船下船時対応の感想、港視察、夕食意見交換会、寄港地の魅力）

1. 高知港は観光案内などそろっていて非常にわかりやすい。また外国人対応も充実しており、地域を上げてクルーズを歓迎してくれているのを感じた。観光場所もシャトルバスで行けるバスターミナルからほど近い場所にひろめ市場のように視覚的にも楽しむことが出来、またさまざまな



特産品をその場で購入することが出来る場所は、時間があまり多くはないクルーズでの寄港地として適していると感じた。高知港でもっとも印象に残っているのは出航時のセレモニーだ。よさこいや書道のパフォーマンスなどを見ていると高知での体験を思い出し、また来たいという思いにさせてもらった。

2. 下船したところにWi-fiが設置されていて多くの外国人が利用していたのでやはりネットが使えることは重要なのだと思いました。バスを降りたところから徒歩圏内に市場や城がありとても観光がしやすかったです。
3. 高知港ではよさこいなどの文化的風習を見れたことは大きいと思います。また昼食をとった市場では、高知名物のカツオのたたきも大変おいしかったが、クジラなど珍味もたしなむことができたので、とても満足しました。
4. 前回のクルーズでも高知に寄港したので2回目だったが、2回目も楽しめた。前回は高知城の中には入らなかったのが今回は行って見たが、高知城から見る高知の景色がとても素晴らしかった。また、自分は行かなかったが、桂浜など港から行ける範囲内に観光資源が豊富にありそうなのも強みであると思う。
5. よさこい情報交流館・はりまや橋・商店街・ひろめ市場・高知城のルートが、ちょうど寄港中の時間で回れるくらいの位置関係になっているのが良かった。また、バスターミナルのおかげで高知市内でバス停留による渋滞が無いのも良い。

6. 二回目の高知港。高知らしさを楽しめる、はりまやばしとよさこい資料館が近くにあるのが良い。鯉を楽しめるひろめ市場に直行した。歴史好きとしては、もう少し探索したかったが、時間の関係でできなかったのが残念。



7. 着岸して高知に降り立った瞬間は旅の疲れも出始めたところで暑い！今日やっていけるかなという心境であったが、高知にもう一度訪れたいと思うほど満喫して楽しめた。バスに乗る際にバスが混んでいて乗ることが出来なかった外国人に文句を言われ英語が話せずあたふたしているスタッフを見て、まだ観光都市として慣れていない部分があるんだな、自分も日常会話くらいの英語は今後身に付けておきたいなと感じた。食わず嫌いだっただカツオがおいすぎて感動した。

8. 高知港は、シャトルバスに乗る際にクルーズを利用している人だとわかるよう紙をつけるなど、混乱が起きない工夫がされていたのが良かった。また、普段、別の目的で利用する港であるにも関わらず、大漁旗を飾り、地元の学校の書道部のパフォーマンスを行うなど大歓迎されている雰囲気をとて味わえた。



9. 寄港地の魅力としては閑散とした商店街にいてもWIFIが得られる状況にあり、外国人観光客にとってはすごく親切であり、リピーターが増えそうな寄港地としては一番ではないかと思った。また、カツオの定食は非常に美味しく頂いた。
10. 高知のアーケードは人、特に観光客が多く活気づいているように感じた。そのアーケードにあるお店でカツオの定食を食べた。名産というものがあると思うのだが、今まで食べていたカツオとは全然違い、とてもおいしかった。市場にも行ったが、とても活気にあふれ、にぎわっていた。その新名物であるゆずビールを飲んだのだが、最高においしかった。あと神社に行ったが緑に覆われ、とても神秘的な場所だった。しかし、バス停でバスを待っている際外国の方ともめており、外国の方への対応が取れていない現状があると感じた。
11. よさこいの羽織を着たり、市場に行ったり出来たのがよかった。また普段生物はあまり好きではなく自分からは口にしなかったが、高知の鯉を使った定食はとてもおいしかった。
12. 高知港では、現在防波堤等の工事中ということもあり関係者車両が多く点在している印象があった。それでいても漁船の旗や、多くの出店が立ち並び歓迎ムードがと

でも感じられた。個人的には寄港地の中では、観光が発展してないのかなというイメージでいたが、上陸するとそんなことはなく、多くの観光資源や水産物の魅力を感じられた。

13. 高知港では、よさこいの記念館ではっぴを着たり、はりまや橋を見たり高知ならではの場所を見て回れてよかったと思う。また、ひろめ市場に行って高知の特産品を見たり買ったりできて港の近場で十分に観光をできたので良い思い出になったと思う。
 14. 高知は、私が思っていた以上に観光資源のある街だというのが感想である。特に、ひろめ市場は観光客にとって高知の味を満喫できるうってつけのスポットであると感じた。薫焼きのかつおや地酒といった魅力を最大限味わうことができた。また、その他の観光地も近場にあり、クルーズという寄港地の滞在時間に制約がある旅においては、大きな利点ではないかと感じた。
 15. 鰹が本当に美味しく、魚介類を前面にアピールしているのもうまいと思った。市場の方が「どこから来たの?」「保冷材付けようか?」と気遣ってくださって温かさを感じた。特に竹林寺が気に入ったが、そこに向かうバスに乗るときにバスが混みすぎて何本も待っている外国人客に遭遇して、改善が必要だと感じた。
- 
16. 初めての四国ということで、楽しみにしていた寄港地の一つ。乗船下船時の対応は特に問題はなかったと思う。寄港地の魅力としては、おいしい食べ物が挙げられる。特にひろめ市場で食べたカツオは忘れられない。また、高知城も良かった。城を守るための対策が随所に見られて面白かった。
 17. 高知でも桂浜のキラキラした海に感動した。私たちは港からタクシーで桂浜まで向かったが、港から市街に向かうバスと桂浜に向かうバスの2つがあれば、もっとたくさんの人に桂浜の魅力を知ってもらえるのではないかと思った。また、商店街は賑やかで驚いた。高知のものを使ったカフェもあり、このように地元のを大切にしたお店が全国にも広まればいいと思った。また道端で将棋をしている高齢者の方もいて、そのような慣習も大切にしていってほしいと思った。
 18. 高知港は、屋根が少なく暑かったです。高台からの見晴らしが良いとの事だったのですが、残念ながら行く事が出来ませんでした。しかし、桂浜や市街地なども楽しめて、とても良い日になりました。私は高知といえば桂浜という印象があります。高知港に寄港するからには桂浜に行きたいという旅行者の方も多いのではないかなと思うのですが、桂浜までのアクセスが不便な印象を持ちました。桂浜行のシャ

トルバスがあれば利用したかったと思いますし、市街地行きのバスと乗客数が分かれるので混乱が避けられるのではないかなと思いました。(バスの便が増える負担があると思いますが…)

(6) 清水港の感想（乗船下船時対応の感想、港視察、工場見学、寄港地の魅力）

1. 清水港でまず驚いたのは、富士山を中心とした景観を損ねないために工場やクレーンなどの配色も地域の会社の協力のもと、青や白に統一されていたことだ。またその富士山をクルーズ中最後の寄港地で見られることが嬉しい。清水では漁業が盛んであることもあり、港のすぐ近くに海鮮が食べられる市場もあり、多くの人を楽しむことができるのではないか。工場視察では、懐かしい気持ちになるCMもありつつ、マカロニを等間隔で切っていく機械など生産現場で用いられているアイデアに触れられる貴重な機会となった。
2. セレモニーなどが他の寄港地でなかったのが新鮮でした、工場見学などはこの様な時でしかなかなかいかないので面白かったです。港の視察では実際の工事現場などを見せて頂けてよかったです。
3. 清水港では、主に工場見学到時間を使いましたが工場見学は小学校以来で、これからの人生でもうする経験があまりないと思うので、懐かしさを感じるとともにためにもなりました。港はほかの港よりも周りの施設が整備されていたので、とても魅力的に見えました。
4. 下船時には見えなかったが、港から富士山を見ることができるのは寄港地としての魅力であると思う。また、小学校か中学校以来の工場見学だったが、普段見ることができないパスタの製造工程を見れたのは純粋に良い経験になった。
5. 係船柱の工事現場やほごろもフーズさんのパスタ工場見学など、普段見られない場所を見る事が出来たので嬉しかった。パスタ工場がほとんど機械で自動化されていて、従業員はそんなに多くないというのは驚きだった。
6. 歓迎セレモニーがあり、クルーズらしさがでていたのが良かった。いつも利用していたパスタの製造過程を意外な機会に楽しめた。クルーズで工場見学というのも個人的にはアリかもしれない。
7. 船が出港するだけのために数えきれないほどの人が集まっていた地元の温かさを感じた。花火が見れなくて残念だったが、お見送りの演奏をみて喜んでいる外国人の姿を見ると、このようなときにも日本の魅力が伝わってまた日本を訪れたいと思



ってくれるのかなと感じた。

8. セレモニーも良かったが、施設見学をしている時に、いろんな角度からダイヤモンドプリンセスを見れたのがとても良かった。また、港視察をしたことによって、実際にクルーズ船が停泊する寄港地がどのような取り組みをしているのか、肌で感じることができたのが印象的である。普段であれば機会もないであろう pasta 工場の見学もいい経験になった。

9. 清水港は今までのクルーズの雰囲気とは一風変わっており、マカロニの工場見学や港の見学等、どちらかというとなんか勉強をメインとしたスケジュールとなり、普段では聞けないような工場の内部について触れられたので新鮮な体験となった。



10. はごろもフーズとい名前は聞いたことがあったが、シーチキンやサラスパを生み出した企業ということは知らなかった。高速で機械からパスタが出てくるのはテレビでしか見たことがなかったので、自分の目で実際に見ることができたのは良かった。港の視察では、普段はいることができなく、見ることができないものをみる良い機会となった。数分しか見れなく残念だった。
11. 工場見学は初めてだったので、新鮮な気持ちで視察した。港では大きな半紙を使って地元学生が書道を披露しているのが見え、とてもよかったし一緒に乗船していた海外の方も興味深そうに見ていた。

12. 清水では歓迎セレモニーが行われていたが、このセレモニーを通じて清水港の市として受け入れ態勢を整えているということが伝わってくる大変素晴らしい式典で会った。工事中の港湾視察を初めて見させていただいて、視察という意味で大変貴重な体験をさせて頂けた。



13. 清水港では、工場見学が印象的でパスタができる工程をわかりやすく説明して頂き、すごく新鮮で聞いていて楽しかった。また、お土産としてその工場で作ったパスタを提供してくれたのも、その心配りがうれしかったと思う。
14. 清水港では、歓迎のセレモニーや出港時の花火打ち上げといったクルーズ船を歓迎する取り組みにとても力を入れているのが印象的であった。特に、出港時の踊りや演奏はどことなく名残惜しさを感じさせるものであった。また、工場見学では、港を利用している企業を視察し、清水という港町を感じる事ができた。しかしなが

ら、観光資源という点では、他の寄港地に比べて弱いのではないかと感じた。

15. 港の物産展のおばさんが沢山サービスしてくださって、また会いにお店まで行きたいと思った。港周辺に商業施設があり、長時間移動することなく観光できることは良いと感じた。工場見学では会社の取り組みや独自性を学ぶことができ、大変有意義だった。
16. 乗船下船時の対応は、特に問題はなかったと思う。寄港地の魅力としては、きれいな富士山が望める点があげられる。また、工場見学では、普段は見ることのできないパスタの製造過程を見ることができた。お土産を頂けたのは、素直にうれしかった。
17. 港はもちろん船からも富士山がきれいに見えて、さすが日本三大美港だなと思った。工場見学では、初めてパスタができる過程を見て、パスタの形を作ったり、結束バンドをしている場面を見ることができ、良い機会となった。工場見学の後は自由時間だったが、近くにはお土産屋さんや食べ物屋さんくらいしかなく、あまり満喫できなかったように感じた。

18. 清水港は見送りのセレモニー（特に花火）がとても印象的でした。しかし、花火を見るためにプール横のデッキから港を見ると、セレモニーが綺麗に見えませんでした。そのため、7階のデッキでセレモニーを楽しんでいたら、最後に花火が上がった際に7階から花火を鑑



賞する事ができませず、とても残念でした。また、夏の富士山に関してですが、雪が積もっていない事に驚きました。私は静岡に寄港し富士山が近くにあるという事を聞いていたので、とても楽しみにしていました。しかし、富士山に雪が積もっていませんでしたので、すこしがっかりしました。また、清水港の方のプレゼンで外国人の方が富士山を楽しみにして来ても、靄がかかっている見れないと落胆されるという話を伺いました。確かに私自身も同じような気持ちだったので、他の目玉も何かあればいいなと思いましたし、もし近くに富士山とは関係なく自然を堪能できる場所や、イベント、体験型施設などの遊べる場所があれば、知りたかったと思いました。というのも、自由時間になった際に、どこに何があるのかわからず、結局アイスを食べながら港をうろうろするだけに終わってしまったからです。

第4部 <船上講義：スマートクルーズアカデミー>

(1) 学生提言：事前準備から、発表までの感想、大学間交流としての意義

1. 普段することも少ないグループワークをするにあたり、やはりスケジュールの管理の難しさを改めて感じた。私達の班では事前に3回ミーティングする時間を設けることが出来、それぞれの回で必要なだけ議論を重ねることが出来たのではないかと思います。議論においても、事前準備をきっちりを行い議論を皆が協力して行えた。またそうしたミーティングを行っていたため、事前に人となりがわかり、クルーズでも仲良く過ごすことが出来たと感じた。
2. 普段自分が研究をしていないテーマを勉強されている他大学生と交流が出来、自分達とは違う考えかたを知ることが出来て良かったです。各ゼミの雰囲気なども聞くことが出来たのも良かったです。
3. 学生提言は、大学間の交流ができてまずよかったですと思います。事前準備では、各々が意見を出し合いまとめれたと思っています。もう少し学生同士で集まれる時間はほしかったというのが率直な感想です。
4. 今回は学生提言の班の班長を任せていただいたが、自分が8月中旬までインター等の予定が入っていたり、後輩が院試を控えていたりとなかなか集まる時間を取ることができなかったことが反省点である。しかし、クルーズ前に一度集まることで、お互いに知っている状態で乗船できたので事前準備での交流が船での交流をスムーズにさせていた部分があったと思う。また、お互いにバックグラウンドが違う者同士が集まることで、面白い議論ができていた部分があり、良い刺激になった。
5. 限られた交流手段で1つの発表にまとめ上げるというのは新鮮な体験だった。特に今回はリーダーという事で、スケジューリングやみんなの意見をまとめる事に苦心した。他大の方とも仲良くなれたので、貴重な体験だったと思う。
6. 乗船前から1つの課題に取り組み交流したおかげで、乗船して他大学の人ともすぐに打ち解けることができた。今回は、メンバーが全員東京在住だったので、事前の打ち合わせもやりやすかった。課題のことから話題も発展することもあった。
7. 私たち3班は発表前に3回新宿でミーティングを行ったがメンバー6人がそろることがなく情報共有に苦労したがお互いの顔やゼミでどんなことをやっているかなど事前を知る事が出来てクルーズの不安が少し解消され楽しみが増えた。テーマが



ざっくりしていたので準備の時点で方向性が決まらず、直前に思いついた政策を発表することになってしまったのが反省である。学外の生徒と議論することは学会などに出場しないとできないことなので、とても良い経験になった。

8. クルーズに乗船する前、班で一度集まったが、集まらなかったらプレゼンが完成しなかったと思うので、その機会はあってよかった。反省点としては、クルーズ船内で話し合うことなどほぼできないことを乗船後、実感したので、乗船前にもう少し準備をしておくべきだった。ただ、他大学の人と議論・発表をするということによって、自分たちが当たり前のように感じていた部分に新しい視点ができたのはすごい経験だった。
9. 発表の準備についてはもう少し、積極的なチーム運営に労力を費やし、チームのために自分が何ができるかを自問自答し貢献できたはずだがそれは困難であった。大学交流の意義としては普段は同質の仲間というが、全く異なった学生と一緒に何かを作るあげる事の「むずかしさ」を知ることができた。
10. 事前準備の際、私は私用により参加できず、クルーズ2日目の班による話し合いで初めて論全体の流れを聞く形となってしまった。論に対して議論したものの、ネット環境がないということで、良い議論はできなかった。そのため、フリーライドしてしまったと反省している。
11. 事前準備はクルーズ船乗船前に行った。他大学の方も一緒になってプレゼンテーションをする機会はほとんどなく、発表の仕方や考え方なども、いつも同質的なメンバーでやっていたのでいい経験・刺激になった。
12. 大学間でこのような機会はまず無いのでこのような機会が出来て率直に嬉しい。やはり、ゼミごとに大切にしているものは違い、驚く部分もあった。それでも合意形成やPPT等の作成は各大学の色が出るので大変興味深かった。
13. 学生提言については、事前準備の時間が少ない中で他大学の人たちと合意形成するのが難しく感じられた。また、学生提言をする意義に関しては、東工大学の人と作業をしていて、東洋大学に足りないものが見えた。一方で、自分たちの強みも分かり、現在の自分のできているところとできていないところがよく分かる機会になったと思う。
14. 今回の政策提言を作る上で、他大学の人たちと合同で行うということは、とても大



変であるということを感じた。事前準備の日程を合わせる際もお互いのことを知らないがために、より気を使わなければいけないといった苦労があった。また、一緒に政策を考えていく際も大学ごとに考えが大きく違っている面もあり、一つの意見を出すのに苦労した。しかしながら、そういった苦労こそが、このクルーズの最大の利点なのでは、ないかと感じた。どうしても同じ大学内では、同じような意見にそれぞれが集約しがちであるが、他大学の方々と意見交換することによって新たな気づきであったり、視野の広がりを得ることができると感じる。このことこそが、大学間の交流の意義なのではないか。

15. 事前準備から本番まで、東工大の方がリードしてくださって有難かったが、任せてばかりになってしまって申し訳なく感じている。他大学の学生、特に私より年上の方との意見交換だったので、クルーズだけでなくお互いの研究や就職などについて本当に多くのことを学ぶことができた。
16. 今回は、他大学の人と協力して提言をするということで、大学間の交流をすることが出来た。甲南大学の方とは、クルーズで初めて出会ったが、東工大の方とは、事前に発表準備をしつつ、交流をすることが出来た。他大学の方々と交流することで、自分たちが持っていない考え方などを得ることが出来た。色々な面で刺激を得ることが出来たのは、とても素晴らしいことだったと思う。
17. 3つの大学が一緒になったチームで、乗船前にみんなで集まれる機会はなかったが、関東の学生が集まり話し合いを進めてくれて助かった。甲南からは1人だけで不安だったが、みんなのおかげでチームのメンバーはもちろんそれ以外の学生との交流も深めることができたと思う。
18. 今回は、関東の大学との合同グループだったため、私は事前の集まりに参加する事が出来ませんでした。そのため、多くの部分を東工大・東洋大に任せる事になってしまいました。クルーズの中では、話し合いや事前の練習に参加し、大学間の交流も図れたのでよかったと思います。

(2) 学生提言についての感想(各班の発表を聞いての感想)

1. 1班は全体をうまく捉えていたと感じた。その上で何が問題で、自分たちがどこについて話しているのかが明確でプレゼンとして非常にわかりやすかった。2班もハードとソフトでの改善を主軸に展開しており、問題意識は明確だった。残念なのはやはり寄港地などに実際に立ち寄ってみたことでそれぞれの港で抱える制約はユニークでなかなか解決が難しいものであった。そのため実現可能性であったりという部分でもう1歩かなと感じた。
2. 同じテーマであるのに、いろいろな角度からの案が出ていて面白かったです。パワーポイントの作り方や、発表の仕方なども各班ごとにちがっていてこんなやり方があるのかと勉強になりました。

3. 各班の発表を聞いて、クルーズ振興についてより深い議論ができたと思います。また、まだ理解できていなかったクルーズについての情報を得ることができ、今後の人生で得られることのない経験ができたと思っています。
4. 1班（自分の班）：先生方からの総評でおっしゃっていただいた通り、もう少し詰められる部分はあったと思うので反省点は多かった。2班：ハード面の港湾整備に関しては、各自治体からの発表にあったように現在進んでいるし、ソフト面の格安プランや日数の短いプランに関しては、カボタージュの問題やクルーズが固定費型の産業であると考えられることから企業として格安プランは導入しにくいのではないかと感じた。3班：自分の班の議論でもカボタージュについての意見が出たが、前回のクルーズでどこかの自治体の方がカボタージュについての言及を避けていたことから、カボタージュは根深い問題であろうと思い今回は我々の班はカボタージュからは逃げた。そんな中、3班はカボタージュについての発表だったので興味深々で聞いていたが、先生方からの総評にもあったように具体的な政策が出てこなかったのは少し残念だった。
5. 目の付け所は面白かったが、自分の班も含めて提言に具体性が欠けていたような気がした。しっかり具体性や行う事によるメリット・デメリット、超えなければならぬ壁などを示すが出来ればより良い発表になったと思う。
6. 3班とも、もっと良い発表はできたと思う。第1回目のミーティングをもっと早く行い方向性を固めていれば、より良いものができただろう。私たちの研究室は、経営工学科なので、民間船会社の経営改善なども盛り込んでも面白かったかもしれない。
7. 各班ともに短い準備期間と他大学と合同の取り組みだったのにも関わらず、クルーズの現状の調査と自分たちなりの政策が打ち出せていてよかった。しかし、政策がメインのプレゼンであるのに、政策の実現可能性(予算や実施者)の検討がどのチームもかけていたのが反省点である。
8. 他の班も、自分たちと同じようなクルーズ市場の現状を調べてきて、提言する方向性だけ違うと想定していたが、他の業界と比較するなど自分たちではまったく挙がらなかった視点もあったのがとても良かった。同じテーマであっても現状の捉え方が違ったので、チームを変えてもう一度議論してみたいという気持ちができた。
9. 案の定、東洋大学の色のパワーポイント、東工大の色のパワーポイントとそれぞれの伝え方が顕著にみられたのもう少し、チームみんなで話し合い意見交換して発表に臨むことが期待されていた事であると再認識できた。
10. ライト層からのアプローチ、クルーズ以外のリゾートとの比較からのアプローチ



様々なアプローチから問題を切り開いていて、おもしろかった。時間がない、集まることが難しいという理由から政策提言そしてその実現可能性を詰めることができていなかったというのが現状であり、自治体の方からもコストという点で指摘をいただくこととなったのだと思う。そのため、すべて妄想で終わってしまっていたように感じる。

11. 自分の班はハード面とソフト面と港湾整備の政策提言を主にしていたが、マトリックスの分析や競合他社の分析、公衆無線LANがないことやバカンス制度の導入等のさまざまな角度からの提言が聞けたことで、いろんな学生が混ざることによってまったく違う角度からの提言が生まれるということに驚いたし、興味深かった。
12. 政策提言は各班ともに政策提言に関して不十分な部分が多く、課題が残る結果となった。カボタージュ法に関して班での共有がいまいち出来ていないような気がした。それでも他大学との共同作業は貴重な体験であった。
13. 学生提言自体は、どこの班も実現可能性まで考えられておらず、爪が甘かったと感じた。また、自治体の方がお聞きになられると事前に聞いていたにも関わらず、中途半端な発表をしてしまったのは、もっと時間をかけて政策提言を作ればよかったと思う。
14. 各班の発表を聞いて、私ははじめどの班も同じような政策に収束していくのではないかと思っていたが、各班が違った方向性の政策提言を行っていたのが、印象的である。私たちの班に比べ、他の班はいろいろな数値例や根拠を提示していて、自分たちの議論の足りなさを痛感した。政策提言を考えるとところまでは至ることができたが、その後の流れを作り出すことができなかったのは、反省すべき点である。次回、乗船する機会があれば、リベンジしたいと強く思う。
15. 他のグループのプレゼンから様々な意見を得ることができ、新たな視点を手に入れることができたと思う。類似産業との比較、市場分析など、私たちの班でできなかったことをしっかり準備している班もあり、学会で発表するプレゼンに活かしたいと思う。そのような実りのある会で私たちの班が優勝できたことは嬉しかった。
16. 全部で3班あったが、どの班も別々の切り口で提言をしていた点は面白かった。特に面白かったのは、クルーズ船と豪華列車を比較して提言していた発表だ。自分たちの頭には全くない発表内容だったのでとても興味深かった。どの班もしかっりと内容のある発表をしていたと思う。
17. 私たちの班は、時間とお金に着目してどちらも抑えたクルーズプランを促進するべきと考えたが、他の班は休みを増やすために「バカンス休暇」の導入などユニークな提案だと思った。しかし、話し合う時間があまりなかったため、ほとんど調べて終わりになってしまっているように感じた。
18. 事前に集まる時間が少なく、各班とも議論が浅かった印象があります。実際に会って議論を深められたらよかったなと思いました。また、今回は関西と関東合同グル

ープなので、ラインの話し合いだけでなく、スカイプやラインのグループ電話などを使って進めるなどの工夫をするべきだったと思いました。

(3) 自治体関係者プレゼン×パネル討論(全国クルーズ活性化会議討論)の感想

1. 各自治体の方々のクルーズに対する取り組みや今後の課題を伺うことが出来た。観光資源として港から2~3時間くらいの距離のものまで認識している自治体もあったが、実際に寄港地によった経験からは1時間程度の場所に行くのが精一杯だと感じた。また特に面白いと感じたのは、福岡はクルーズの誘致に成功している事例であると事前調査で感じていたが、福岡市ではバス渋滞や観光客による閑静な住宅街が賑わってしまうことで地域住民の方にとってマイナス面が強く出てきていることだ。私達の班ではカジュアル船によるクルーズを増やしたいと考えていたが、カジュアル船ではさらに大規模なクルーズ客が一斉に押し寄せるため、街のハードの整備がもちろん必要で、且つ地域住民の方の声との両立が大事であると感じた。
2. 各港湾施設ごとに規模や寄港回数が異なっていて、抱えている問題も異なっていて非常に勉強になりました。クルーズ船が来ることによって、生じるメリット、デメリットなどが聞けてとてもよかったです。
3. 自治体の方々のクルーズに対する考え方は、とても為になりました。そして、公務員という立場の方々とこのパネルディスカッションができたこと自体面白かったです。自治体ごとに違った状況でクルーズを活用していくことを知ることができ、今後の日本におけるクルーズ事業の一端を見た気もしました。
4. 自治体関係者の方々のプレゼンを聞くのは今回で2回目だったが、前回も今回も自治体ごとにどのような取り組みを行っているのかがわかって非常に良い経験になった。特に、博多港のプレゼンが印象に残っており、クルーズが来すぎていることで様々な問題が発生しており、単に「クルーズ需要拡大！クルーズをわが県に！」とは言えなくなっている港があることに驚いた。今回の学生提言の課題はクルーズ需要の拡大であったが、各港へのクルーズ寄港数の平準化というのも需要拡大とともに考えていかなければならない課題であると感じた。
5. プレゼンについては短い時間だったので自港の簡単な紹介だったが、パネル討論で各港がクルーズの誘致やクルーズが寄港した時の対応に力を注いでいるという事を知る事が出来たので良かった。質問に対してもしっかり答えてもらったので、感謝している。



6. 各自治体によって異なるクルーズ事情を抱え、取り組んでいることを知れた。課題に取り組む際、クルーズの良い面ばかり見ようとしていたが、実務に携わっている方が話す問題点を聞くことで考えの幅が広がった。
7. 各自治体ごとに特徴や抱えている課題が異なっていて努力しているのが見られたが、どの自治体も学生のプレゼン同様に具体性が欠けていた。(例えば、福岡市のバスで混雑し道路の渋滞するのを緩和させるのためにプランの変更をするといっていたがどのようにアプローチするのか言っていなかったので口先だけのよう聞こえてしまった)
8. 実際の自治体の現状・課題・取り組みを知ることができたのはいい経験だった。そもそも自分たちのような利用する側とは異なり、クルーズ船を迎える側の視点として、学生のプレゼンとは違う現実的な内容であった。また、短い時間で現状から課題・取り組みまで説明し切れるスキルというのは参考にするべきものだった。
9. 討論会では約10港くらいの寄港地の自治体の方がプレゼンをして下さった。寄港地それぞれで課題が異なること、期待されていること、魅力が異なることを知れた良い機会になってさらに各寄港地について調査したくなるような討論会であったので今後も続けていった方がよいと感じた。
10. 呼び込もうと考えている自治体、クルーズ船の寄港が多すぎて困っている自治体など自治体によってさまざまな問題を自治体によって抱えているのだと学んだ。福井の方の発表で、近くで行うイベントを行う地区と手を組んでクルーズ客を呼び込もうという考えは面白いと思ったが、逆にとらえると頼らなければ満足させるだけの魅力が弱いのかなと考えてしまった。しかし、どこの自治体もクルーズを呼び込むことに積極的ということが伝わるものだった。
11. 各自治体でそれぞれ推したいものや改善したいもの等いろいろあって、同じ港湾でも地域が違ふとまったく状況が違うんだということに驚いた。個人的にはパネル討論会では完全に学生と港湾関係者で別れていたもので、混合にしてディスカッション形式にしてもいいのではと思った。
12. クルーズ港湾市場はその土地ごとに、現状や課題が違う事、それでいて政策案や今後の方針が違うことが分かった。しかし、どの港も観光客の増加を目指しており、共通の目標を達成するために、各港の工夫が光っており素晴らしいと感じた。
13. クルーズ活性化会議討論については、各自治体の人話を聞いて各地域には各々で課題を抱えていて、その課題に対してみんな真摯に向き合っているんだと感じた。また、アプローチの仕方も各港で異なり、聞いていて興味深かった。
14. 自治体関係者プレゼン*パネル討論では、各自治体が抱える問題に関して、自治体側から意見を聞くことができ、とても貴重な経験であった。私が、聴いていて思ったことは、現在、大型化しているクルーズ船に何とか対応していかなければならないという問題をどこの自治体も抱えているということである。そのうえで、各地方

がコストに対してどれほどのパフォーマンスを生み出していけるかというのが、今後の課題であるように感じた。

15. 同じ「港」を動かしているのに、自治体によって全然異なる取り組みを行っており、港湾の方にとって非常に有益な会だったと思う。ただ港を整備するだけではなくその後の対応などについても様々な考えがあり、これを組み合わせればさらに素晴らしい港づくりにつながると感じた。個人的には学生がもっと積極的に質問できればよかったと思う。
16. 多くの自治体関係者の方々が参加してくださったおかげで、各地で抱えている問題を知ることが出来た。どの港もクルーズ船に寄港してもらうために、必死の思いで誘致をしていることが分かった。それほど、クルーズがもたらす影響は大きいんだということを知ることが出来た。
17. これから港を盛り上げようとしている自治体の問題や、すでに盛り上がっている自治体の問題など様々な課題があると分かった。観光資源がある自治体はそれだけで観光客が来てくれるとおもったが、港から離れた場所に観光スポットがある自治体は、体験型などで観光客をひきつける必要があると思った。
18. 各港ごとに様々な課題があるという事がわかりました。私はクルーズは日本ではそこまで盛り上がっていないと思っていたので、福岡県の方の船が寄港しすぎて困るという話はとても興味を持って聞く事が出来ました。

(4) スマートクルーズアカデミー内容全般について(学生提言大会、自治体との交流会、スポーツACTIVITY大会、フォーマルナイト、夜の交流会など)についての感想と今後の要望

1. 自治体の方とはディスカッション以外でお話を伺うことが出来、そこが個人的には最も有益であったと感じた。私自身は公務員という働き方を全く視野に入れていなかったため、各自治体の方々の意見や視点を知ることが出来、自分の考え方や視野が広がった。フォーマルナイトでの交流はクルーズの豪華さもあり、少し自分が大人になったような感覚に陥ったことが楽しかった。
2. スポーツアクティビティがあまり運動の出来ない船内生活においてとても楽しいイベントであったので、ぜひ今後も開催してほしいです。提言大会などでは見られない他大学の生徒の一面などが見れて良かったです。地方自治体の方との交流会などは普通の学生生活ではあまりない貴重な機会なのでありがたかったです。
3. スマートクルーズアカデミーで、全く知らなかったクルーズ旅行の楽しさを感じることができ、そして他大学とのこういった楽しみ学べる場で交流できたのはいい経験になりました。また、食事などで自治体の方々と歓談を楽しみ聞く内容もとても面白かったです。

4. 前回は3泊4日のクルーズであったのに対し、今回は7泊8日だったので存分に船を楽しむことができた。また、寄港地も前回より多く、クルーズの醍醐味を味わうことができたと思う。ただ、前回に比べて物足りない気がしたことは講師の方が少なかったことである。前回のクルーズでは、様々な大学の先生方や早川さんの話を食事の時などに聞くことができ大変勉強になることが多かったが今回は空き部屋の問題から参加大学は少なかったので勉強になる話が聞けたという観点からは前回の方がよかった。もちろん、取れる部屋の数やマネジメントの観点からむやみに人数を多くするのは難しいかもしれないが、より多くの大学が参加することで学習という点でも交流という点でもクルーズアカデミーがより有意義なものになると思う。
5. 学生提言大会や自治体のプレゼンによって、クルーズ振興の現状や課題を知る事が出来て、夜の交流会などの集まりで参加者同士の交流もする事が出来るので、勉強になるし楽しくもあるので満足している。
6. 単純にクルーズを体験するだけでなく、クルーズの意義や問題点を考えながら乗船できるのが良かった。クルーズという非日常の場で、先生や社会人の方と何気ない交流の中から知れることも学生にとって貴重な経験になると思う。
7. スポーツアクティビティ(日南市でのバレーボール大会)では先生、後輩、先輩、自治体関係なくいい意味で壁がなくみんな本気で楽しんでいてよかった。地元のジュニアチームの女の子たちもいたのでその子たちとももっと交流が出来たらよかった。
8. クルーズ船内のフォーマルナイトや食事など、普段学生生活を送っていく上では、ほぼ経験できないようなことを経験できたのはすごい良かった。最も良かったことはスマートクルーズアカデミーという企画を通して、会ったことのない学生、先生、自治体の方に出会えたことだと思う。学生同士、違う視点で議論したことや他大学の先生と自分たちのゼミについて話したこと、自治体の方と地域の現実について話したことは価値のある経験だった。今後の要望として、人と関わるという点において楽しむ企画というのは揃っていると思ったので、アカデミーの面でもう少し充実させてもいいと思う。具体的には自治体の人とはプレゼンを通して質疑応答しかできなかったもので、ディスカッション等をする機会があれば、さらにいい経験になると思う。
9. 今回のスマートクルーズアカデミーについての意義としてたくさんあるが、最も大切なことは何か目的をもってアカデミーに参加することである。自分は自



治体の方々との交流をメインとして参加した。最初は交流を持てなかったがだんだんと打ち解け合うことができた。クルーズという手段で、自治体の方々との交流という目的を達成したことは非常に学生最後の夏休みを有意義に過ごせたと思う。

10. 今回の学生提言で最も重要である政策提言と実現可能性を詰めるためには、クルーズの知識を持っていると前提とし、問題意識を全チーム同じにし、学生には政策提言とその実現可能性を詰めてもらうのはどうなのかと思った。ラウンジやディナーで自治体の方とお話をしたが、学生の質問に1つ1つ丁寧に答えていただいて、とても勉強になった。
11. 普段あまり外出することが無いので、各寄港地に行って政策や問題等のお話を聞いたこと、また各地の観光所等を拝見できたことはとてもいい経験になったと思う。また、スマートカジュアル・フォーマルナイトなどがあるのも、非日常感を感じることが出来、いいと思った。
12. フォーマルナイトなど初めての経験が多く、常に驚きと発見の連続であった。自治体の方々との交流も貴重な体験であり、大変うれしく感じた。しかし、各寄港地に降りた際見学時間全体として短いのかなと感じてしまったので、そこは今後の要望として挙げたい。
13. スマートクルーズアカデミー全般としては、自治体の人、教授の方、他大学の学生と交流を持てたのが良かったと思う。各々違う環境で、何をされていて、何を感じているのかを聞いてすごく自分はまだまだ頑張らなきゃだなと感じ、良い刺激になったと思う。
14. スマートクルーズアカデミーの内容について私は、どれもとても満足している。特に、他大学や自治体との交流はなかなか経験のできないことであるので、とても有意義な時間であった。また、スポーツ大会についても体を動かすことが好きな私にとって、体を動かしながら、いろいろな人と交流できることはよかったことである。フォーマルナイトといったイベントは、スーツを着ることの少ない学生にとって新鮮であり、とても楽しい経験であった。今後の要望としては、乗船してすぐぐらいにスマートクルーズアカデミー内での交流イベントなどがあれば、より早くお互いが打ち解けあうことができ、クルーズをより良いものにできるのではないだろうか。
15. とても楽しかったし、また参加したいと感じる内容だった。他大学の学生や先



生方、自治体の方と交流する機会は普段ないものなので、今回このような機会を頂けたことに感謝している。アカデミーのスケジュールによって寄港地での観光時間を十分に確保できなかったことが唯一残念な点だったので、今後は寄港地での充実した時間づくりを考えてもよいのではないかと感じた。

16. スマートクルーズアカデミー内容全般についての感想は、とても貴重な経験をさせていただいたということです。普段は交流することのない他大学の学生や先生たち、また自治体関係者の方々などと交流することで新たな視点で物事を考えるようになった。また、船内は半数が外国人ということで、外国人との交流もあった。この年齢で、このような経験をするのはなかなかできないの、今後の生活に是非とも活かしていきたい。また今後の要望としては、もっと多くの方々と触れ合えるような環境を提供していただけたらうれしいなと思った。

17. 自治体の方と聞くと堅い人が多いのかなと思ってディナーで一緒の時は緊張していたが、みなさんいい意味で柔らかくて話しやすかった。また学生のみなさんも話しやすく、仲良くなれたおかげでクルーズの楽しさも増したと思う。学年はバラバラだったが、これから先も繋がって



ていきたいと思う。ただ、クルーズの後半からみんなと打ち解けることができたので、もっと早くに打ち解けていたかったなと思う。各大学のゼミごとで行動することもよいかもしれないが、交流する時間が限られている他大学の学生と行動する時間ももっとあったら、より交流を深められたのかなと思った。

18. アカデミーの最大の魅力として、クルーズを楽しむ事はもちろんなのですが、その他に他大学の学生や先生方、また自治体の方々との交流があると思っています。1年前にクルーズに参加して、未だに関係が繋がっている友達もいますし、今回もこれから仲良くしていきたいと思える友達と出会う事が出来ました。また、今回参加された自治体の方々にはフランクな方が多く、沢山話をする事が出来たと思っています。ですが、クルーズは時間の制約があります。早く他大学の学生と仲良くなるためにも、例えばアカデミーの班ごとに行動する時間を作ったり、クルーズ乗船1日目や2日目の自由時間に他大学と一緒にアクティビティをしたり、寄港地では他大学と合同で回れるような時間があると、より早く仲良くなれるのではないかなと思いました。仲良くなればアカデミーの楽しさは倍増すると思います。

第5部 <地域活性化・クルーズ振興>

(1) 地域活性化のためのクルーズ客船誘致と港湾の役割(港湾関係者の発表や船内での関係者との議論を踏まえて)についての感想(国・自治体政策のあり方など)

1. クルーズの誘致は、まず観光客の需要があるかどうか。そして私が感じたように釜山のような場所は2回目は行かないと感じるようではいけないということ。しかし広島のように観光資源に恵まれた街でも4回目のお客様は飽きていらしたというお話もあり、リピーターの多いクルーズでは飽きさせないという視点が重要だと感じた。クルーズは寄港地で過ごす時間が短く限られていることから、寄港地毎でクルーズ客に向けて幾つかの観光プランを提示しておくとの良いのではないかと感じた。またそれをやるにあたって、港においてハードの整備、そしてその観光先でもソフトの整備を行う必要がある。こうした観光プランの提示は各寄港地の魅力を効率的に知ってもらうことができるため、地域においても、クルーズ客にとっても満足度の向上につなげていけるのではないかと感じた。また船内での政策提言では言及しきれなかったが、中国客による訪日が多いため、その外交問題も重要な意味をなす。尖閣諸島の問題を機に中国人観光客は激減した。こうしたリスクを低減するためには政府による外交関係の構築がまず必要である。しかしクルーズを通して日本に来てもらうことで、日本の良さを外国人にアピールする機会でもあるため、政府による外交とクルーズ振興による正の循環を生むことが出来るのではないかと考えている。
2. 地域を活性化させるためにはクルーズの経済効果は馬鹿にならないので、港湾施設を充実させることは必要であると考えます。しかし、充実させるための資金はほとんどが税金であるので、そこで暮らす地域住民の生活により直結する事業からしかお金を使えないと聞き、自治体など行政が普段研究している企業とことなっていると感しました。
3. クルーズの誘致に関して、ハード面に関してはまだ整備が整っていない港が多いことが分かった。防波堤だけでなく、22万トン級の船を停泊させる港を作るといったことも行われていると知り、国自体がクルーズ振興を目指しているとわかり、とてもクルーズ事業に対して関心が出てきました。
4. 前回も感じたことだが、どの自治体もクルーズ客船誘致に力を入れていることから、



クルーズは地域活性化のための重要なファクターになっていることを改めて感じた。食事の際に福井県の自治体の方に「なぜクルーズ客船に力を入れるのか」「物流よりもインバウンドに注力した方が経済効果が見込めるということなのか」という事を質問した時に、「具体的にどれぐらいの経済効果があるかはわからないけれど、クルーズによる経済効果はやはり自治体にとってはとても魅力的であると思うから客船誘致に力を入れている」という返答も頂いた。現状、外国人のクルーズに対する需要が伸びていることから、クルーズ会社は供給量を増やしたいと考えていると思われるが、供給量を増やすためには利用可能な港湾が増加しなければならない。各自治体は港湾施設のハード面、ソフト面を整備することでクルーズ供給に貢献する事ができる。そして、クルーズの供給面に貢献する事が結果的に地域活性化につながる。



5. 自治体の方々の話を聞いて、どの港湾もクルーズ船に寄港してもらおうと必死の取り組みをしているというのは伝わってきた。しかし、それ故に日本国内の港湾同士でパイの奪い合いをして、停泊料の価格競争や船社へのサービスの過剰な充実が発生しているという面もある。そういった過剰な競争を抑えるために、中立な立場に最も近い国が主導で、誘致や船社との交渉に関するルールやガイドラインを策定する必要があると感じた。
6. クルーズ船が地域経済にもたらす恩恵は大きいだろう。ただ、中国をはじめとした外国人の需要に依存しすぎるのは危険だし、実際マナーや地元住民の反発など問題も顕在化している。日本人のクルーズ利用を増やすべきだろうが、日本はクルーズの需要が高まる可能性を秘めていながら、市場は十分に開拓できていない。日本人向けの取り組みと、日本人の中でも誰がクルーズを求めているのかを真剣に考える必要があると思う。
7. 外国人観光客の日本を訪れる目的で多いのが、日本食を食べること、繁華街の食べ歩きである。この二点は地方都市のほうがその土地ならではの新鮮な食材があり、昔ながらの商店街も多いため達成できると考える。このことから地方都市を回るクルーズは地方都市の地域活性化の可能性を秘めている。自治体の役割はクルーズで訪れる客のために港の整備に精を出すのも大切だが、乗客の立場にたつてひとりひとりの意見をきき不自由を解消してことを実行するべきである。
8. 地域活性化という抽象的な言葉でクルーズを誘致する理由を理解していたが、クルーズの経済力は地方の財政面で重要なものであるということを自治体の方の話を聞いて感じた。しかし、その一方でハード面の整備は多くの港の共通の課題であり、

膨大な時間・費用がかかることも理解した。クルーズ船誘致のためには、港湾の整備に国・地方自治体が協力する必要があると思った。

9. 地域活性化のためのクルーズ客船誘致というよりかはその寄港地の観光地が整備されていないとクルーズを誘致しても意味がないと思った。クルーズに向けての費用についてはやはり、その地の県民一人当たりの生産性を上げられなければならないと思う。それには自治体と企業の連携が必要であると思う。
10. 多くの自治体の方が言われていたうちの1つとして、港の拡張が印象的である。また、宮崎の日南のお話の際にきいた着脱式は面白く、コストも少ないとの話であったので、素晴らしいアイデアだと感じた。客船誘致をする際、どこの層を顧客にしようとしているのかを明確にすることが重要だと感じた。インバウンドを狙うには、外国の方が快適に過ごせる環境づくりがお粗末すぎるし、日本だったら、世代によって好みが分かれると思うのだが、時間的な制約もあったと思うが、具体的な内容を聞きたかった。
11. 発表では触れなかったりしたことでも港湾の方々にお話を聞いたりしていろんな知識を得ることができた。高齢化が進む中で、必ずしも若年層だけがクルーズに乗船するわけではない。余暇時間が多いこと、また平均資産が多いことも考えると高齢者に向けたクルーズプランがあってもいいのかもしれない、と思った。
12. クルーズ客船の誘致のためのPRと現存の港湾のハード面の整備は重要であると感じた。なにより、クルーズ客船が来た際の、市民としての受け入れ態勢を整えることが大切ではないかと感じた。国と自治体のさらなる共存が重要なのだと感じた
13. 地域活性化に対して、クルーズの効果は重要であるというのがどこの港にいても感じた印象であった。そのため、クルーズの誘致は自治体で取り組む意義があると思う。しかし、各地域に特色があり、課題も変わってくると思うので、まずは地域の実態をきちんと把握しなければならないと思う。
14. 地域活性化のためのクルーズ客船誘致には、国や自治体の協力が欠かせないということが分かった。自治体関係者の方々の発表を聞くまでは、国や自治体がどこまでクルーズに関与していけばいいのかを考えることができなかった。しかし、発表などを聞いて、特に、ハード面において国や自治体の関与が必要不可欠であると感じた。ハードを整備したうえで、ソフト面である産業や観光地が頑張っていくことが、クルーズ誘致には必要なのではないかと考える。
15. クルーズ船が寄港することでの経済効果は大きく、誘致することで地域の活性化につながることは間違いないので、それをアカデミーの場だけではなく各自治体の住



人に向けても宣伝すべきと感じた。クルーズの注目度が上がっている今だからこそ、今回参加していた自治体以外の自治体や国も港湾整備に目を向けてくれればと思う。

16. 地域活性化のためにクルーズ船を誘致するのは、大変なことなんだと分かった。しかし、クルーズ船がもたらす経済効果は非常に大きく、どの自治体も尽力していることが分かった。クルーズ振興のためには、国の援助も必要だということで、もっとクルーズ船の魅力を世に広げ、今以上に国が援助してくれる日を待ち望んでいる。
17. クルーズのいいところは普段だったら行かないところにも寄ってくれる点だと思った。今まで興味のなかった土地でもクルーズで行くことにより、その土地の魅力を知ることができると思った。例えば、油津港では名前も聞いたことがなく、何があるかもわからなかったが、実際に行ってみると素敵な場所がたくさんあった。なのでその土地に詳しい自治体の方が積極的にその土地の魅力をアピールしていくと良いのかなと思った。

18. アカデミーの参加者の方と話している時に、クルーズの寄港地についてクルーズで寄らなかつたら一生来なかつたと思うという意見を何人かから聞きました。クルーズは普段行かないような場所に行けるという事が魅力だと思います。これは、船を誘致する立場にとってはとても貴重な事だと思います。



船で立ち寄ってくれた観光客が、その県の魅力を味わって、また来たいと思ってもらえたり、そこでの名産品を買ったり、観光地を回る事で、その地域を知るいい機会になると思います。

(2) クルーズの社会的意義とクルーズ振興の在り方(ニーズの掘り起こしにむけての若い世代からの視点)

1. ニーズを掘り起こすためには、まずクルーズという選択肢を生まなければいけない。旅行のTV番組でも触れる機会がなく、さらに値段がネックとなることが多い。それでは若い世代が乗ることはなく、顧客層拡大は現状難しい。しかし地域創生が必要不可欠な日本においてクルーズ振興は日本が取り組むべき課題であり、日本の魅力を外国人だけでなく日本人も再発見するいい機会であると感じた。
2. 社会的意義としてはやはり経済的効果が大きいと思う、若い世代や乗ったことが無い人を乗せるためには、期間が短いショートクルーズや価格の安いクルーズを世間にアピールをしていくことが重要であると思う。クルーズがどのような風に予約できるかなどが日本ではまだ知られていないので、まずは知ってもらう事が重要であると思いました。

3. クルーズ振興はやはり若者向けにある程度のものを割り向けるべきだと思う。クルーズは、日本にはそこまで浸透していないものだと思います。そこでやはり、クルーズ産業の広がりのためには若者に向けたクルーズ振興は最重要課題だと改めて認識できました。

4. 船上でのプレゼンの時にも挙げたが、クルーズの社会的意義は3つあり、1つ目は地域活性化、経済効果、2つ目は非日常の体験による余暇の充実、3つ目は人流であると考えている。特に経済効果については大きな期待が寄せられていることだろうと思うが、利用者が外国人や高齢者に偏っているという事実を考えて行かなければならない。「なぜ若者がクルーズに



乗らないのか」ということを考えると、そもそもの認知度の低さなども挙げられるのだろうが、一番の原因は敷居の高さではないかと考える。金銭的に敷居が高いのはもちろん、学生は意外と期間の長さも気にする（特にアルバイトを行っている人は休みをとることに気を使う）。また、実際に乗ってみるとそんなことはないけれども「夜はスーツを着るらしいから格式が高い」「船内の会話は全部英語らしい」など敷居が高そうなイメージを植え付けられていることも学生がクルーズに乗らない一つの要因なのではないかと思う。そういった学生が持つ「クルーズは敷居が高い」というイメージを払しょくすることが新たなニーズを獲得することにつながると考えられるが、私はそのイメージを払しょくさせるという点でクルーズアカデミーはとても有意義なものであると捉えている。価格を割り引いて乗せてもらえる上に、経験者と一緒に乗る安心感も与えてくれる。クルーズアカデミーのような活動は若者の需要を掘り起こすという点ではかなり有効な手段であると思う。

5. 今回訪れた港だと宮崎の油津や高知は、陸路だとなかなか辿り着くのが大変な地である。旅行者からするとそういった場所を観光する手段として、その地に住む人々からすると観光地としての売り込みに向けて、クルーズというのは意義のある旅行手段だと考えられる。ただ、長い期間と高い料金がネックになっているので、どちらかでも解消する事がクルーズの需要増加に繋がると考える。

6. 経済効果と雇用創出効果に意義がある。価格設定の見直しや宣伝活動も必要だろうが、若い世代の中でもどういった層がクルーズを求めているのかは真剣に考える必要があると思う。若い世代は趣味・嗜好が多様化しており、旅行が好きだからといってクルーズに満足するとは限らないかもしれない。意外なことだが旅行があまり好きでないインドア派のメンバーが、クルーズなら旅行をしても良いと言っている。

7. 若い世代(特に大学生)は時間に余裕があり金銭的に余裕がないとはいえ比較的クルーズに参加しやすい。しかしクルーズを利用する人が少ないのは自分たちはクルーズに乗るのは早い、敷居が高すぎる、楽しめないという思い込みがあるからである。それを払拭するために生協などと協力して学生クルーズのパンフレットなどを創りクルーズの魅力を認知させるべきである。
8. 観光産業は、日本を活性化する上で重要な分野であることは多く知られていると思う。しかし、その中でもクルーズという海の観光手段は、利点が多い反面、固定概念から敬遠されている印象がある。特に価格の面では、充実したサービスがあるにも関わらず、純粹に値段で高いと判断されがちである。日数の課題もあるが、他の旅行に比べ、費用対効果が高いという面をもっと理解してもらわなければ、クルーズ振興は良いものにならないと思う。
9. 今回のクルーズ体験を通して感じたことはカジュアル船の普及と若者へのクルーズの魅力を発信することに尽きると思う。なぜならば私自身も乗船するまではイメージが全然異なっていたためだ。さらには学生は社会人のように金銭面に余裕がない。そのため体験てきなクルーズ客船も今後必要ではないかと感じた。

10. 私たちの世代の場合、まずクルーズとは何かやクルーズでは何をすることができるのか、その費用はと何も知らないことが大半である。現在自治体の方はクルーズ船を呼び込むことを中心に、国はインバウンドを中心に行っているため、まだまだこれからの日本では日本人の新顧客獲得は難しいと思う。クルーズは地方創生を担うものであり、クルーズでなければ行くことがないところに行くことができ、地方の素晴らしさを知る良いものだと考えている。



11. 海外に関してはあまりニーズ等はわからないが、日本に関して言うならば若年層労働者は一年で休みを取れる日が極端に少ない現状にある。短期間でいけるクルーズや、航空会社・鉄道会社とも連携を強めて、片道クルーズ等を作るのもいいかもしれないと思った。
12. なにより、費用を抑えるための工夫が必要であると感じた。個人的には寄港地に数多く寄ることもうれしいのだが1日洋上という日がもう少しあってもいいのかなと感じた。一方で、7泊の長さも少し長く感じるので、4泊程度のツアーを拡充させるべきかと思った。
13. クルーズは日本でも、徐々に寄港しているものの、他の国に比べるとまだまだである。クルーズの経済効果は、莫大であり社会的意義は大いにあると思う。若い世代は、まだクルーズの良さを知る者は少ないと思う。そのため、若い世代には、クル

ーズの乗船経験のある同年代の人が、体験記とかをネット等を通じて、配信し魅力を伝えていくべきなのかもしれない。

14. クルーズは新たな産業や経済効果の創造といった点で、今後、日本において発達させていく意義があると考えます。今までの陸路や空路といった観光手段に海路という新たな手段を選択肢として加えることにより、今まで利用されていなかった海沿いの観光資源を創出することができる。そのことにより、今まで活性化していなかったような地方を新たに活性化させる契機にもなるのである。また、今まで、日本人が行ってこなかったクルーズという休暇の過ごし方を提案することは、今後の日本人の仕事のあり方にも影響を与えていくものになるのかもしれない。クルーズ持つ社会的意義は大きいと私は考える。

15. クルーズに対する若者のイメージはやはり「高い」「堅い」というものが根強い。しかし、下船後に友人や家族に感想を話すと「楽しそう」「行きたい」という反応が多く、実際に乗船した人がクルーズの良さを広めることが一番の振興になると感じた。

16. クルーズは、お金持ちの人や高齢者向けというイメージがあるが、それは日本だけだということが、今回クルーズに参加してみて分かった。我々の世代から見ると、クルーズはあまり縁がないものだと思うが、実際に体験してみても思ったことは、取りあえず乗船してみるかという軽い気持ちでも



良いから、体験してみることが大事なんだなと思った。若い世代はもっといろんな経験をすべきだと思う。

17. 初めてクルーズに乗って、こんなに楽しいものなのか！と思った。船の中で楽しんで、食べて、寝れば寄港地に着いていて、観光できるのは最高でした。しかし、そもそもクルーズを知らない人や知っていてもお金がかかるからと行かない人が多いと思う。アカデミーに参加した学生がクルーズの素晴らしさを周りの人に伝えていくことはもちろんですが、卒業旅行のプランでクルーズを推したり、高校などの修学旅行でクルーズに参加するのもありかなと思った。若いうちにクルーズに参加して、その魅力を知ること、社会人になっても老後になってもクルーズに乗ってくれる人が増えるのではないかと思った。

18. クルーズはどの旅行に比べても一番現実を忘れてリラックス出来る旅行だと思います。しかし、多くの方がなかなか手が届かないように感じていると思います。（それは金銭面も時間的にも雰囲気やイメージ的にもです。）移動費・宿泊費・食事代全て込みの値段だと考えれば、それほど高すぎるわけではありません。また、現実を忘れて本当にリラックス出来、それなりのお金に見合った旅行である事を、もっ

とPRしていく必要があると思います。また、クルーズ行くにはある程度まとまった時間が必要です。学生はまとまった時間を作りやすい環境にあると思います。もし、今回のアカデミーの値段でのクルーズのプランがあれば、大学生の需要も少しは喚起できるのではないかと思います。

(3) クルーズ全般への感想(失敗談なども)、将来に向けての感想、前項までに該当しなかった部分への感想など


1. グループワークでは私達3班は3位となった。現状調査やそのスケジュール管理はきちんと取り組めたと感じたが、最後の政策提言につなげていくための”まとめ”の部分でもうひと踏ん張り出来なかった。グループワークの難しさを感じたが、現状調査やスケジュール管理においてきちんと出来たことなど収穫もあった。次回グループワークを行う機会にはまた生かしていけることは多く学ぶことができた。クルーズ中では油津寄港の際遅刻し、皆を待たせるという大失態を犯した。クルーズで浮かれてしまい、日南の方々のご協力を無碍にってしまったことを痛感した。それもあり、もう一度このクルーズアカデミーを振り返ると、赤井先生を始めとした先生方、寄港地での自治体の方々、全国の寄港地の方々、プリンセス・クルーズの方のように多くの人達の熱意と厚意でできている機会であることを再認識できた。こうした認識を社会に出て行くうえで、忘れず生かして行きたいと感じた。クルーズ自体は想像以上に楽しかった。自分で機会を作っても再び乗船したいと感じている。次は日本発着だけでなくカリブ海や地中海のように是非海外で乗りたい。またそのために英語をもっと話せるようにしたい。こうした英語を使いたいと思う機会に触れられたことも1つクルーズの良さだったと思う。このスマートクルーズの益々の発展をお祈りしております。
2. 途中乗船だったので、船の中の設備を全て見る事が出来なくて、残念でした。行ってないラウンジやスパなども非常に気になるのでまた同じ船に乗りたいという気持ちと、先輩方のように別の船も乗ってみたいという気持ち両方があります。
3. 将来、またこうしてクルーズに乗ることがあると思います。このクルーズアカデミーの経験がなければこのように思うことはなかったと思います。クルーズで将来乗るとしたら、寄港地がどのような発展を遂げているかを見ながら旅行したいと思います。
4. 失敗談としては、カジノで2万円負けたこととランニングに参加出来なかったこと。次回はカジノにも勝ってランニングにも参加したい。クルーズに参加するうえで大



事に行っていることはとにかく船と寄港地を楽しむということだが、+αとして英語の実践の場としても大事に行っている。前回、今回ともに英語をあまり積極的に使えなかったのも、次は船員との会話なども楽しみたい。また、上の質問欄でもクルーズアカデミーの重要性を述べているように私はクルーズアカデミーの活動はとても素晴らしいと思っているので、少しでもクルーズ振興に貢献していきたい（口コミ程度しかできないかもしれないが）。

5. 今回のクルーズは、波が荒れていたのか船の揺れにとっても苦労した。元々車酔いをする方なので、酔い止めが無かったらきっとダウンしていたと思う。7泊8日ずっと忙しい毎日だったが、充実した日々であった。将来乗船する時は、ゆっくりとクルーズ船を楽しんでみたい。
6. クルーズの体験はどれも非日常で、背伸びをすることで良い経験ができたと思う。将来、旅行は好きだが、あまり体力のない両親を招待したい。集合時間に遅刻して、多くのひとにご迷惑をおかけしたことを大変申し訳なく思っております。日常生活から見直していきます。
7. クルーズでの感想、振り返りを思い出してこのアンケートをかいてみて、思い出することはたくさんありすらすらとつづることが出来たが、全体的なざっくりとした内容になってしまったので、もう少し旅の途中で逐一思ったこと、感じたこと、誰かに伝えたいこと、今後役立ちそうなことをスマホのメモにでもとっておけば振り返りがより良いものとなったかなと反省した。
8. 全体的に楽しんだつもりであるが、苦労した点として英語で聞く・話すということができなかったことがある。想像していた以上に英語が多い環境であり、船員との会話、ショーの司会、他のクルーズ客の言葉の多くが英語であった。普段、英語と接する機会のない自分にとって、船上生活で困ったところはないものの、英語がわかればもっと楽しめたように思える。英語の理解に対する障害をクリアできれば、海外クルーズという手段も生まれ、もう一度クルーズに乗るという目標も達成できる。
9. クルーズ全体への感想としては乗る前と乗った後でクルーズに対してのイメージや思うことはガラッと変わったことである。クルーズに関してまだまだ認知度は低い。そのため、若者だけではなく、生産年齢人口にも周知が必要であるし、また、自分も両親、友人をはじめとした身の回りの人たちにこの思い出を拡散していきたいと思った。



10. 今回のクルーズ体験を通して、またクルーズに乗りたいと考えるようになった。今回のクルーズでのお金は、両親に依存していた面があるので、親孝行するにはのせてあげたいと思った。また、卒業旅行の際の移動手段として片道クルーズを取り込むのも面白いと思った。クルーズに乗った私のこれからの役目として、今回のクルーズアカデミーを通して、何を見て、聞いて、何をしたかを周りの人たちにどんどん拡散していくことだと思う。学生のうちにこのような経験ができたことに誇りを持ち、これからの学生生活に何かしら活かしていけたらと思う。
 11. 一緒に乗船されていた各自治体の方々や、寄港地での自治体の方々にもいろいろなお話を伺うことができた。クルーズ船が寄港するというだけでも地域それぞれの特徴や工夫していること、問題点がそれぞれあり、またさまざまな対策整備を行っていた。普段だったらそれは知りえないことだったし、知ることができてよかったと思っている。
 12. 2日目のチーム議論の場に多くの東洋大生が遅刻した件に関しては、深く反省したい。多くの失敗や発見など、普段の生活では絶対に体験できないような貴重な経験をさせてもらえて事に深く感謝したい。またクルーズに乗りたいと感じるようなそんな充実した船旅であった。
 13. わたしは1週間ダイヤモンド・プリンセス号で旅をして、また乗りたいと純粋に思った。寄港時間が全体的に少なかったことを除いて、一気に様々な地域に訪れることができ、船内でも様々なイベントや飲食店やバー、普段では体験できないことができる空間は最高だと思う。
- 
14. クルーズ全般の感想として私が感じたことは、もっとクルーズについて勉強しておけばよかったなということである。もっと事前知識をつけておけば、よりクルーズを楽しむことができ、よりクルーズやそれを受け入れる自治体を理解することができたと思う。今回のクルーズだけでは、クルーズのすべてを楽しむことは出来なかった。なので、また必ずクルーズに乗ろうという思いでいっぱいである。また、今後のクルーズ活性化のためにもスマートクルーズアカデミーの一員として、周りの人達にクルーズの良さを今後発信していかなければならない。また是非とも体験したい夢のような7泊8日であった。
 15. 今回のクルーズでは沢山の貴重な経験ができ、このような機会を下さった赤井先生やカーニバルジャパンの方には心から感謝している。また、アカデミーの中で何度もご迷惑をおかけしてしまい、普段の生活の甘さが出てしまったことは反省している。何よりも楽しかったし一生の思い出になったので、またアカデミーにも参加したいと思ったし、個人的にクルーズに乗りたいとも思った。今後はクルーズの感想

を広めることなどでクルーズ振興に貢献したいと思う。

16. クルーズに参加する際は、しっかりと準備をしていくことが大切だと思った。事前の準備の度合で、楽しさも変わってくる。荷物の準備はもちろん、クルーズについての知識や寄港地を予め調べていくということだ。そうすることで得られるものも変わってくる。今回のクルーズ参加は、自分の将来のために大きな影響を与えた。それは、今回一緒にクルーズに参加した人たちはもちろんのこと、船内で世界の人たちと交流できたことで、自分のちっぽけさを思い知ることが出来た点にある。また、いろんな考え方も学ぶことが出来た。今回このような機会を作ってくださった先生方にはありがたい気持ちでいっぱいです。クルーズに参加できたことを誇りに思います。本当にありがとうございました。とても楽しく、充実した8日間でした。
17. 初めてのクルーズは本当に楽しかったです！クルーズが始まって最初の方のアフタヌーンティーで一緒になったご高齢の夫婦の方が、今回のクルーズで20万くらい費やしたという話を聞いて、20万も出してクルーズに乗るかなと考えていたのに加えて、去年参加した学生が楽しい楽しいと言っていたので、すごく期待度を上げていたのに最初はあまり楽しめなかった。しかし、後半になるとクルーズの魅力を知ることができ、将来もお金を貯めて来たいと思うようになった。また、本当に夢のような時間を船で過ごしたため、帰ってから現実に適応するのがつらかったです（笑）より多くの方がクルーズに乗ってくれたら嬉しい。今回は本当にありがとうございました！！
18. 私は去年参加してから、本当にクルーズの旅が好きになりました。実際にアカデミー以外のクルーズに参加した事はありませんが、クルーズでのディナーに家族で行ったりもしました。船の中から夜景を見ながら食事をして、食後デッキで夜風に吹かれるだけで、本当にリラックス出来ますし、優雅な気分になります。もっと多くの人にこの楽しみを知ってもらいたいと思います。アカデミーはクルーズを知るためには最高の機会だと思います。もっと多くの大学が参加するようになって、もしアカデミークルーズというプランが一般化してきたら、とてもおもしろそうだなと思います！学びながら、体験しながら、交流の輪を広げる事が出来ました。ありがとうございました。

